

# 全船協

第134号 2017年5月 春季号



広島商船高等専門学校練習船「広島丸」  
広島商船高等専門学校提供



一般社団法人 **全日本船舶職員協会**

JAPAN MARITIME OFFICERS' ASSOCIATION

無料船員職業紹介所(国土交通省許可第8号)

URL <http://www.zensenkyo.com>

## 山友汽船株式会社

代表取締役社長 望月正信

〒650-0015 神戸市中央区多聞通2丁目1番1号  
TEL (078) 371-5505 FAX (078) 371-5520  
Email: sauyukun@vsoin.ocn.ne.jp

## B&S ENTERPRISE

株式会社ビーアンドエス・エンタープライズ  
TEL (078) 361-6971 FAX (078) 361-6972  
Email: info@bands-iz.com



## 北星海運株式会社

代表取締役社長 佐藤有造

〒104-0031 東京都中央区京橋一丁目1番5号

セントラルビル6階

電話 (03) 3275-5520(代) FAX (03) 3275-5575

## 一般社団法人 日本船長協会

会長 小島 茂

〒102-0083 東京都千代田区麹町4丁目5番地  
(海事センタービル5階)

電話 (03) 3265-6641

FAX (03) 3265-8710

http://www.captain.or.jp

## 一般社団法人 海洋会

会長 山本 勝

〒102-0083 東京都千代田区麹町4丁目5番地  
(海事センタービル6階)

電話 (03) 3262-8632

FAX (03) 3262-6909



一般社団法人

## 日本船舶機関士協会

会長 井手 祐之

〒102-0083 東京都千代田区麹町四丁目5番地  
(海事センタービル5階)

電話 (03) 3264-2518

E-mail: me-honbu@marine-engineer.or.jp

URL http://www.marine-engineer.or.jp

## 人と海に未来を

## 公益社団法人 日本海難防止協会

会長 工藤 泰三

〒105-0001 東京都港区虎ノ門一丁目1番3号  
磯村ビル6階

電話 (03) 3502-2231

http://www.nikkalbo.or.jp

E-mail: 2231jams@nikkalbo.or.jp

・海技教育支援事業 ・奨学金貸与事業  
・帆船海王丸体験航海事業 等

## 公益財団法人 海技教育財団

会長 武藤 光一

〒102-0093 東京都千代田区平河町2-6-4

電話 (03) 3288-0991 URL http://www.maei.jp

## 海上の友

船員と船員家庭のタブロイド版新聞 月1回1日発行  
年間購読料 本体価格(5,916円) + 税 送料別

お申し込み  
お問い合わせ (公財)日本海事広報協会

〒104-0043 東京都中央区湊2-12-6

電話 (03) 3552-5034 FAX (03) 3553-6580

海運界出身の転職コンサルタントが対応!

## 海技者の転職

### ならキャプタンへ

海運キャプタン 検索



転職支援・人材採用のお問合せ (担当:佐々木)  
電話 03-3497-9335 marine@mail.caplan.jp  
キャプタン株式会社 東京都港区南青山3-1-31B 南青山ビル2階

平成19年第9回グリーン購入大賞優秀賞

平成21年第3回ものづくり日本大賞優秀賞

平成22年資源循環技術・システム表彰

平成23年第1回エコマークアワード奨励賞

広域認定事業所 株式会社おぎそ

会長 小木曾 順務(鳥羽44E)

〒509-5401 岐阜県土岐市駄知町1468

電話 0572-59-8639 FAX 0572-59-4546

海技者の転職支援から、10年の海技者へのサポートを提供したという理由で、  
きんぎょ会同船員会を奨励し企業選定、この賞状を贈呈され、今年度新造船業  
界(造船400社)で「高PETボトルを多く回収PETを製品製造に活用する事業」で特  
定受託事業選定に入る。ご褒賞おめでとうございます。

## 目 次

表紙	広島商船高等専門学校練習船「広島丸」	
巻頭言	.....	理事 柏木 実...2
平成28年度第3階通常理事会報告	.....	事務局...3
広報大使	埜 智子です よろしく.....	会員 埜 智子...5
帆船日本丸の重要文化財指定答申によせて		
	帆船日本丸記念財団 常務理事・船長.....	飯田敏夫...6
JAXA 極海・氷海域分科会に委員として参画	.....	副会長 赤嶺正治...9
函館港物語	.....	NPO 箱館写真の会 野戸 崇治... 10
会社紹介コーナー	川崎近海汽船.....	13
近藤真琴先生の書	.....	鳥羽商船高等専門学校名誉教授 水野 逸夫... 14
小島と遊ぶ	.....	名誉顧問 田中善治... 16
神保町散歩 [留学生 周恩来の足跡]	.....	会長 岩田 仁...19
海事ニュース	.....	20
全船協・無料船員職業紹介所	.....	事務局...22
海運・造船業界の求人動向 (2017年3月末現在)	.....	関キャブラン...23
全船協講演会...今日の現状と運命、そこに不可欠な日本人の心		
	いわむら観光大使、拓殖大学 客員教授 窪田 哲夫氏.....	24
<b>北から南から</b>		
	富山高等専門学校.....	28
	鳥羽商船高等専門学校.....	31
	広島商船高等専門学校.....	36
	大島商船高等専門学校.....	39
	弓削商船高等専門学校.....	41
	海技教育機構.....	46
本部・支部だより	.....	事務局...49
お知らせ 合同進学ガイダンス	.....	事務局...51
お知らせ 第47回戦没・殉職船員追悼式のご案内	.....	事務局...53
お知らせ 第43回戦時徴用船の最後	.....	大久保一郎遺作展.....事務局...54
会費納入者御芳名	.....	事務局...55
時事寸評	表紙写真解説 ..... 編集後記.....	事務局...56

# 巻 頭 言

昨年 6 月に理事に就任しました弓削商船



1968 年卒業、航海科 62 期生の柏木 実と申します。2011 年より弓削商船同窓会長も兼務させて頂いております。微力ではありますが、本会の発展に少し

でもお役に立てればと思っておりますので、何卒宜敷くお願い致します。

私は、卒業後航海士として乗船勤務し、色々なことを経験して来ました。

当時は、コンテナ船はなく、雑貨は在来定期船で運ぶ時代で、一万トン級の小さな貨物船で冬場の北太平洋を青波が常時ターポーリンのハッチを洗い、木葉の如く荒れ狂う大時化の中、天測も出来ず、船位もままならないまま、ひたすら目的地へと航海を続け、入港すると待ち構えていたように 12 ギャングのステベが来船し、連日のオールナイト荷役で航海士にとっては目の回る大変忙しい日々の連続でした。

又、27 万トンの VLCC では、ラストヌラで原油を満載、マラッカ海峡、及び、豊後水道を通狭し、Q/M と二人当直で緊張の連続の末、事故なく無事目的地に到着した時の感動は今なお記憶に新しく、大変貴重な経験でした。

12 年間東京の船社に勤務した後、郷里今治の海運会社に再就職し、35 年間に亘り船舶管理業務一筋に歩んで来ました。その経験から船にとって最も重要なことは、安全

運航です。運航効率を上げて利益を追求することは船員として大切なことですが、ひとたび事故を起こすと、荷主を始め関係者に多大なる迷惑をかけると共に、一般社会にまで大変な被害を及ぼすことになり、会社の存続も危ぶまれるばかりではなく、社会的な大問題となる恐れがあります。

ご承知のように、韓国の客船「セウォル号」の事故の際、船長が乗客に避難指示を与えず、我先にと本船を離れたことが、多数の貴重な人命を失う大惨事を引き起こす大きな要因となりました。

一方、大西町出身の住村博船長は、「かりふおるにあ丸」が太平洋上で大時化のなか船体が折損した際、乗組員全員の退船避難指示、確認後、本船の沈没を目の当たりにしながら航海士の退船誘導にもかかわらず、自らが船と共に命を絶たれました。

これら二つの事故は、船長の責任のあり方について考えさせられる海運の歴史に残る重大事故でした。

船長以下士官として乗船勤務する者は、世の東西を問わず、若い多感な時代に商船学校で船とはどういうものであるかの基礎知識を身に付けるか、又は、若い時から長年船の仕事に従事し、苦学して海技免状を取得した者が、大自然を相手にする船の責任者として最もふさわしいのではないかと思います。

学力の良し悪しもさることながら、船を運航するにあたって重要なことは、船とは何たるかを身体で覚え、理解し、何か起こ

った際、タイムリーに的確な判断をし、船を安全に導くことが出来る船長以下乗組員こそが立派な船員であると考えます。

我々の母校商船高専は、5校共に120年の伝統を誇る国立商船学校であり、創立以来先輩の方々は大変ご苦労され、外航船の船機長、及び、士官として長年に亘り日本の海運業界を支え、国の発展に大いに寄与して来られました。

我が国は、周囲を海に囲まれた島国なので、今後どのように時代が移り変わろうとも、船舶による海外との貿易無くしては成り立ちません。

国策的にも外航船員を育成する商船高専に与えられた使命は大きく、今後とも海運業界の発展に大いに寄与して行かなければならないと考えております。

終わりに、誠に残念ながら、商船学校の名が残っているのは全国で4校のみとなってしまいましたが、我が国の商船隊の運営管理を担っていく為の教育機関として、商船学校の名は永遠に残して行かなければならないと考えます。

## 平成28年度第3回理事会議事録

1 日 時：平成29年 3月24日(金)

18時00分～20時00分

2 場 所：全日本船舶職員協会会議室

3 議長選出：定款第39条により会長がこれに当る

4 書記任命： 田島事務局長を指名

5 理事の定足数確認（定款第40条に定める定足数は理事の過半数6名）

理事総数 12名、監事総数 2名

出席理事 8名

赤嶺正治、岩田 仁、及川武司、小木曾順務、柏木 実、田島孝一、望月正信、吉本公則

欠席理事 4名

濱崎龍也、松見 準、山田貢、矢野芳秀

出席監事 2名

渡部英利、本望隆司

書記より出席状況が報告され、定足数が確認され、理事会が成立している旨宣言

された。

6 議事録署名人 定款第44条により、会長及び渡部監事とする

6 議事録署名人 定款第44条により、会長及び渡部監事とする

7 審議事項

1) 1号議案 平成29年度事業計(案)及び予算(案)について 資料1 本部提案の事業計画(案)及び予算(案)に従い順次説明がなされた。その中で、5商船系高専漕艇大会の支援(約20万円及びタオル)中止について、本部は、よりキャリア教育指導など当協会のアピール等、効果的な支援に活用したいとの提案に対し、今後引き続き漕艇大会を支援することが望ましいとの意見が多く出され論議の結果、同大会への支援の継続に一部含みを残すことで決定さ

れた。(文言については本部一任)  
又、内航乗船研修制度の見直しについては、第2回理事会でされたが、関係官庁との協議が必要であり、本望監事から内航船舶職員支援対策として①内航船舶職員上級資格取得状況調査、②内航船舶職員資格取得支援、③VHF 英会話支援事業、④内航海運宣伝活動推進、が提案されているので、その提案などをもとに担当官庁と協議し、内容をきめることとし、事業計画(案)及び予算(案)は承認された。

2) 2号議案 寄付金取扱規程について 資料2

事務局としては、現在は寄付金取扱規程が設けられておらず、今後関係各方面への寄付申し入れを行って行く上では是非とも必要な規定であるとの説明がなされ、論議の結果本部提案は承認された。

この制度導入により、「退職金の繰入や部外役職手当などの繰入が出来る体制が整ったと理解する」旨の意見が出された。

8 報告事項

1) 商船系高専5校校長との懇談会について 資料3

本部より資料3に基づき説明がなされた。

又、同懇談会に出席した監事から、「校長の移動状況をみると商船系5校の校長が商船系大学出身者に交代するなど、商船の位置づけがより明確にされているようであり、海技教育フォーラム(2月10日)

でも商船高専の先生達は元気がでており、自信を持ちつつあるように感じられた。本協会の活動のたまものである。」との発言があった。

9 その他

①平成29年度 入学試験状況(中間報告)説明 資料1

②会長より若者へ全船協のアピールの為、1月19日の執行役員会にて大島商船高専航海科出身で、現在モデルとして活躍中の「埜 智子」さんを広報大使に任命し、協会のアピールをしてもらうことになっているとの報告がなされた。

以上の議論を明確にするため、次に記名捺印する。

平成29年3月24日

議事録署名人 理事 岩田 仁 ㊟  
監事 渡部 英利 ㊟

## 広報大使 埜智子です よろしく！！

初めまして。この度、全日本船舶職員協会の広報大使に任命されました埜智子（たお ともこ）と申します。

私は、国立大島商船高等専門学校の航海科を卒業し、船関連の会社に勤めておりましたが、現在はモデル・PR業などをしております。現在の仕事をする中でも、帆船での航海実習体験は私の基盤となっており、とても良い経験をさせてもらったと思っております。

ですが、残念な事にまだまだ船や海について日本社会でよく知らないという人が多い事も事実です。

今回、広報大使として少しでも多くの人に船について興味をもってもらうきっかけが出来るよう PR していけたらと思っております。

全船協は船員教育を支援したり、会員相互の親睦を図ったりしている協会です。また、船員の方々に少しでも実力を発揮できる場所（職場）を紹介するお手伝いをしていく所でもあります。

恥ずかしながら、私自身全船協が何の為の協会かよく把握できてなかった事もあったのですが、ぜひ仲間同士で助け合うシーマンシップを思いだし、一人でも多くの方々が協会に入会して船員社会を盛り上げていって頂けたらと思います。

職場により待遇が変わりますので、条件面等はよく確認していただきご検討される事をお勧めします。

海務監督の求人では、船長経験、もしくは1級海技士（航海）免状を有する監督に



安全指導もお任せする求人が増えていきます。

またマンニングのニーズもありますので、経験のある方はお問合せください。

30代～40代の工務監督の求人は多数ありますので、転職の際には具体的職務内容や条件のほか、将来の事も考えて職場環境（人数や組織構成）も含めてよく検討いただき、焦らずにじっくりと良い選択をしていただければと思います。



# 帆船日本丸の重要文化財指定答申によせて

公益財団法人 帆船日本丸記念財団

常務理事 船長 飯田敏夫

横浜港旧横浜船渠1号ドックに係留保存されている帆船日本丸が、このたび国の重要文化財に指定される運びとなりました。

我が国の文化財保護政策は、文化財保護法に基づき行われており、同法第1条に法律の目的を以下のように定めています。「この法律は、文化財を保護し、且つ、その活用を図り、もつて国民の文化向上に資するとともに、世界文化の進歩に貢献することを目的とする。」また、第2条に於いて文化財を定義し、有形文化財として「有形の文化的所産で我が国にとって歴史上又は芸術上の価値の高いもの（これらのものと一体をなしてその価値を形成している土地その他の物件を含む。）並びに考古資料及びその他の学術上価値の高い歴史資料」としています。



現役時代帆走中の帆船日本丸

日本丸は、文化庁文化審議会文化財分科会において調査審議の結果、上記の基準を踏まえ、国指定重要文化財として保護活用していく価値があるとされたものです。今回の答申に際し、海運史、造船技術史等研究上に貴重であるとして主に以下の点が評価されています。

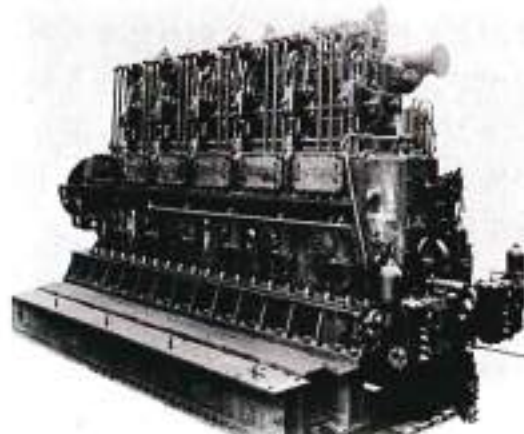
- ① 戦前期及び戦後の昭和期の長い期間にわたり一貫して船員養成の任を担い、四方を海に囲ま

れた我が国の海運業の発展に貢献したこと。

- ② 現存希少な戦前に建造された船舶であり、船舶へのディーゼル機関導入期において国内技術により開発した船用ディーゼル機関を搭載した、横肋骨方式リベット構造の鋼製大型帆船で、当時の船体構造、艤装をよく伝え、外板も建造時の鋼材を多く残している。
- ③ 日本丸に残された航海日誌、機関長日誌等の日誌類や建造時の図面類、加えて船体・機関の来歴や検査記録に依り、運航や修繕の内容を体系的に知りうる資料が存在している。



帆船日本丸進水式（1930年 昭和5年）



日本丸 主機関（池貝鉄工所製大型ディーゼル）





スカジャンナンバーを付けた日本丸 1949 年（昭和 24 年）



現在の帆船日本丸（総帆展帆）

現在、日本丸は横浜市が昭和 59 年（1984 年）に国から譲り受け、所有者は横浜市で、港湾局所管となっています。市の指定管理者制度に基づき公益財団法人帆船日本丸記念財団・JTB コミュニケーションデザイン共同事業体が管理を受託し、維持管理と活用を図っています。

活用の方法として、公開事業と青少年の錬成事業を行っており、公開事業としては船内の公開、総帆展帆の展示、満船飾やイルミネーションの展示等を行うとともに、青少年の錬成事業として船内設備を使った海洋教室の開催、船に関する講座の開催等を行っています。また、広く海事思想の普及活動として、船や周辺施設を使った各種イベ

ントも開催しています。

公開事業においては、OB 諸氏のボランティア活動による船内ガイドが行われており、見学者への海での経験に基づくガイドは好評を得ています。

日本丸は係留船であるとともに、現在も平水区域航行練習帆船としての船舶資格を取得しており、毎年船舶検査を受検しています。エンジンからプロペラに至る装置は現役時のまま保存されていますが、エンジンへの燃料系統及び排気系統を封鎖することにより、エンジンを駆動できないようにしています。エンジンによる自航はできませんが、帆による自航が可能とすることで、平水区域航行練習帆船としています。

その他船舶として必要な設備、機能を維持しています。可能な限り現役時代の姿を維持するようにしていますが、一般公開を行うために、階段の傾斜を緩やかにする等変更した所も有ります。1 号室から 12 号室は昔のままに保存し、海洋教室の宿泊場所として活用しています。

外航日本人船員が減少し、また内航船員の高齢化が進む中、海技の知識を持った新たな人材の確保が叫ばれている今日、船・練習船の象徴である帆船日本丸が、昨年の氷川丸に引き続き国の重要文化財に指定されることは、単なる観光資源として活用するだけではなく、両船を活用し、国民の多くの目を船・海運・船員に向けることが、管理する者の使命であると考えます。

具体策は今後検討して参りますが、皆様の知恵をお借りしたいと考えますので、アイデアをお寄せ頂き、様々な可能性を探って行きたいと思えます。現在も続く練習船での訓練と航海、社船での航海の使命と達成感、青少年に歴史と夢を語ることで、日本人船員の確保育成に貢献できるものと確信しています。

横浜市から維持管理を受託しております帆船日本丸記念財団といたしましては、日本丸が重要文化財に指定されることを踏まえ、多くの船員や教育機関が関わってきた日本丸に関する資料を広く収

集、整理、保管して後世に伝えるとともに、国民の方々に御覧いただく機会を設けることを計画しております。

収集資料といたしましては、帆船日本丸に関わる文書、新聞報道、書籍、写真、動画映像（8ミリ、ビデオ等）、記念品等特に限定は致しておりません。

皆様のお手元に保管されているもので、ご寄贈頂けるものがございましたら、下記までご連絡、ご送付賜りますようお願いいたします。また、日本丸を永く保存していくために皆様のご協力を賜りたく、重ねてお願い申し上げます。

今年中に、横浜みなと博物館において「企画展 帆船日本丸の航跡（仮題）」を開催するとともに、7月から8月にかけて帆船日本丸に関する講演会を計画しております。改めてご案内いたしますが、皆様のご来場をお待ち申し上げます。

公益財団法人 帆船日本丸記念財団  
会 長 金近忠彦  
常務理事 日本丸船長 飯田敏夫  
理事 横浜みなと博物館長 志澤政勝

〒220-0012 横浜市西区みなとみらい2-1-1

TEL 045-221-0280 FAX 045-221-0277

E-mail: iida@nippon-maru.or.jp

n-info@nippon-maru.or.jp

## お知らせ

### 第34回横浜港カッターレース

- 1 開催趣旨 海事思想の普及と国際港都ヨコハマ市民の海・港への理解、親しみを深めること、更には港周辺の活性化を目的として公益財団法人帆船日本丸記念財団及び横浜海洋少年団所有のカッターを使用し、レースを開催する。
- 2 開催日 平成29年5月21日(日) 午前8時30分～午後5時
- 3 場 所 横浜港/山下公園前面水域及び公園内
- 4 主 催 横浜港カッターレース実行委員会(事務局：一般社団法人横浜港振興協会)
- 5 後 援 横浜市 他13法人、 特別協賛：16法人
- 6 カッターレース内容

① 一般予選・準決勝・決勝レース	152チーム	43レース
② シニアレース	20チーム	5レース
③ 小学生特別レース	8チーム	2レース
④ 女子予選・決勝レース	32チーム	9レース

以上

## JAXA極域・氷塊域分科会に委員として参画

副会長 赤嶺正治

平成 28 (2016 年) 12 月 21 日、第 1 回 JAXA 極域・氷海域分科会が開催され、当協会副会長の赤嶺正治船長が委員として出席しました。JAXA 極域・氷海域分科会の設置の目的は、極域・氷海域での船舶の安全航行や経済運航に資する海水状況や船舶動静把握のための利用ニーズの把握、利用ニーズを満足する成果を生み出すために必要な情報の整理、水循環変動観測衛星「しずく」搭載の高性能マイクロ波放射計 2 の後継機ミッションの企画・立案に資するユーザ要求を取り纏めることです。



赤嶺正治船長は、以前船会社で水路係（航路・港湾、気象・海象などを調べ、運航船舶の安全・効率運航に反映させる業務など）を 3 度務め、商船、クルーズ船、探検船、客船などの氷海航海の支援を行い、自身も商船による氷海航海の経験を有しています。

公的には日本船主協会開催の北極海航路開設協議会や日露海運協議会などに専門家として参画し、氷海地域への現地調査も行っています。

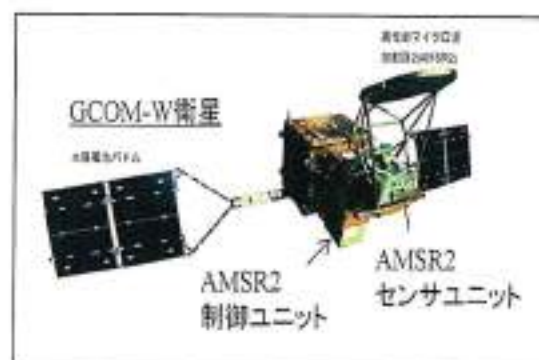
その後北極海を活動海域の一つとする海洋調査船へ改造する原子力船「むつ」の艦装船長として出向し、1997 年新しく生まれ変わった海洋地球研究船「みらい」の初代船長に就任。約 12

年間海洋調査航海に従事し、1998 年～2008 年略毎年夏場の北極での氷海航海を行っており、現場をよく知る極域・氷海域の運航の専門家と言えます。

近年北極海の海水は地球温暖化により減少傾向にあり、北極海航路の利用が現実味を帯びています。北極海航路の特徴は氷海航海であり、海水の状況を把握することが船舶の安全・効率運航に大きく結び付きます。JAXA が平成 24 (2012 年) に打ち上げた人工衛星「しずく」は上空 700 km の軌道から高性能なマイクロ波放射計により北極海全域の海水状況などを観測しており、その観測データは北極海を航行する船舶の安全・効率運航に大きく寄与しています。

「しずく」の設計寿命は 5 年といわれており、その後継機の企画・立案に資するため、この度私達運航者の意見を反映できる機会が得られたことは、多くの運航者（海事技術者）で組織する協会としてたいへん意義のある参画であると言えます。

当協会としても当該分科会においてよりよい成果が得られるよう委員である赤嶺船長を支援して行きます



人工衛星「しずく」 写真提供: JAXA

# 函館港物語

NPO 箱館写真の会 野戸 崇治

## 1. クリミア戦争と共にやってきた日仏友好

1855(安政2)年、フランス軍艦シビル号(462人乗組)が箱館に入港しました。



シビル号

その前年、アメリカのペリーが箱館にもやってきていました。横浜で日米和親条約締結後、翌年正式開港する箱館港の検分・測量を行い、上陸して写真も撮って帰りました。

このころフランスは、ヨーロッパでロシアとクリミア戦争の最中で、ロシアの軍艦を追って遠く極東までやってきていました。しかし、長い航海で船員の間には傷病者が出て、死者も出るようになっていました。そこでフランス艦は、安政2年3月長崎港で、5月には下田港で、傷病者の療養のために奉行所に上陸を願い出ました。しかし、フランスとは条約を結んでいないことを理由に断られていました。

6月7日、今度は箱館にやってきて、フランスの同盟国であったイギリス軍の艦長を介して同様に申し出たところ、箱館奉行の竹之内下野守保徳は、人道的見地から幕府に無断で上陸療養を許可しました。

そして、最初にシビル号、その後ヴィルジニー号、コンスタンチヌ号と3艘がかわるが

わる、合計100人近くの水兵たちが上陸して療養しました。

外国人墓地にはこのとき療養かなわず亡くなって埋葬された6名の水兵の慰霊碑が、そして療養所として使用された実行寺には日仏友好のモニュメントが建てられています。これらは、函館日仏協会と在仏北海道人会の「ポブラ会」が10年ほど前に建立したもので、毎年7月には碑前祭が執り行われています。シビル号の入港から百六十数年が経ちましたが、フランスはいまでもこのことを忘れず、新規に着任した駐日大使は必ず函館に表敬に訪れるそうです。



フランス海軍の慰霊碑参拝

3番目のコンスタンチヌ号の士官たちは、乗員の療養中に奉行所の役人たちへのお礼の意味で、洋式の砲術や操船術を教えるなどしました。このとき士官から、後に五稜郭を作る教科書となった築城書が奉行所に贈呈されました。数年後奉行所の役人竹田斐三郎がこれを基にして、五稜郭と弁天砲台の設計を行ったのでした。

療養を許可した竹之内下野守はその後外国奉行となり、幕府が最初に欧州に諸交渉のために派遣した使節団の責任者として1862(文久元)年欧州に渡りました。箱館でのことが団長

としての派遣につながったことは想像に難くありません。そしてこのとき中心役人の一人として同行した柴田貞太郎剛中は、この後1865(慶応元)年、再度渡仏して2年後の仏軍事顧問団招請の交渉をまとめました。4人の集合写真左から2人目が竹内、右端が柴田です。



パリの使節団

左から松平康直、竹内保徳、京極高朗、柴田剛中

## 2. 箱館奉行所はフランス軍が写したのか

徳川幕府は慶応3(1867)年、フランスから軍事顧問団を招請します。

しかし、教練を始めてすぐに、戊辰戦争が勃発し幕府が崩壊してしまったため、一年と少しの短期間でその役割を終えました。

しかし、顧問団のジュールブリュネら5人は旧幕府軍に加わり戊辰戦争を戦います。箱館ではフランス人がさらに5人加わり合計10人になっていました。



幕府軍軍事顧問団



戊辰戦争に参戦した顧問団兵士

明治元年、最新鋭の軍艦開揚を先頭に、榎本武揚ら旧幕府軍が蝦夷地箱館に移動すると、フランスは自国の軍人が反乱軍に加わっているため、その動向を監視するために軍艦を交代で箱館に派遣しました。

最初のロワ艦長のヴェニユス号が到着したのは、初期の戦いが落ち着いた12月でした。

次に2月に交代したのはデュプレクス号で、艦長はプティオール。この艦長は前年2月、戊辰戦争のさなか堺事件に遭遇しています。堺や箱館での出来事を書きとめた日記は「フランス艦長の見た堺事件」として翻訳出版されました。

最後4月に入港したのが、コエトロゴン号。艦長ディドは5月11日の決戦の直前、ブリュネらフランス人を収容して箱館を去ります。その後ブリュネらを横浜でも上陸させず、日本からサイゴン経由で本国に送還したため国際問題となることはありませんでした。それどころかブリュネは、軽い処分後軍に復帰し普仏戦争に従軍するなどした後、最終的には軍の高官となり明治政府から勲章も授与されています。



ヴェニウス号



五稜郭内函館奉行所



デュブレクス号



コエトロゴン号

函館市中央図書館に、五稜郭内にあった幕末の奉行所の写真があります。撮影者は不明です。

いまは行方がわかっていませんが「明治元年冬、フランス軍がやってきてこの写真を撮り、伊藤鋳之助においていった」という裏書のある同じ写真があったという資料があります。多分事実だと思うのですが、証拠になるものはありません。

奉行所写真には、屋根に雪らしいものが見えること、箱館戦争時5月には物見櫓が砲撃で破損していることなどから明治元年以前の撮影とおもわれます。これらから、ブリュネらを監視に来ていたフランス艦ヴェニウス号、これに乗り組んでいた写真師が撮影した、という考えが出てきます。これ以前にやってきたペリーは写真師を同行していました。写真を発明した国であるフランスが写真師を同行していないとは思えません。

ヴェニウス号の乗組員の誰が撮影したのか。箱館来航時の乗務員の名簿を探し、そこから写真師を見つけ出そうと、2012年秋、フランスで図書館や博物館・資料館の調査をしましたが、突き止めることはできませんでした。しかし、これからも調査は継続します。

次号に続く

お願い！

文中で紹介されている船に関する情報・資料をお持ちの方は全船協事務局まで連絡ください。



## 会社紹介コーナ

### ～川崎近海汽船株式会社について～

川崎近海汽船株式会社は、1966年（昭和41年）に川崎汽船株式会社の近海・内航部門を継承する形で誕生しました。この時、川崎汽船グループの一員であるとの意味を含め、字体は若干異なりますが赤地に白抜きのKマークをファンネルマークに採用しました。※余談ですが、このファンネルマークは当社員からは、愛称を含めて「下駄を履いたK」と呼ばれています。



～当社のファンネルマーク～

当社の事業はRoRo船を始めとした内航部門、東南アジアと日本の交易を主とした外航部門、北海道と東北を結ぶ旅客フェリー部門、そして2013年に設立したオフショア支援船部門の4つに大分されます。このように内容が大きく異なる部門を事業展開している船社は海運業界でも大変稀な存在であると言えます。従業員数は陸員約130名、海員約100名で、商船高専卒業生については海員として14名が在籍しております。



～船長と若手航海士～

当社運航船はRoRo船や旅客フェリーといった運航スケジュールが分刻みの船も多く、乗組員には効率的

かつ的確な船舶運航が求められ、日々刻々と表情の変わる海と向き合いながら日夜安全運航に努めています。



～機関長と若手機関士～

当社は現在、2018年度に予定している岩手県宮古港～北海道室蘭港を結ぶ新規旅客フェリー航路開設に向け、商船高専を始めとした新卒船員の採用を積極的に進めており、乗組員の確保に努めております。これに加え、団塊世代の退職も重なり、船内の雰囲気はここ数年で大きく様変わりしました。本船には若手船員が多数乗組み、緊張感を持ちつつも和気藹々とした雰囲気の中で仕事ができる環境になりました。当社は今、若い力で支えられていると言っても過言ではありません。



～甲板作業中の一コマ～

昨年の海運大手三社のコンテナ事業統合に象徴されるように、海運業界を取り巻く環境は目まぐるしく変化しています。当社はこれまで築き上げてきたノウハウを更に進化させ時代のニーズに合わせた企業へ成長すべくこれからも走り続けます。

## 近藤真琴先生の掛軸

鳥羽商船高等専門学校名誉教授 水野 逸夫

平成24年10月27,28日の両日、弓削商船高専で全国商船高専漕艇大会のヨット競技が開催され、参加しました。ヨットは学校近くの浜都海岸から出艇するので、海岸を歩いていると「田坂為松顕彰碑」が目にとまりました。大正10年の建立でしたが、今までこの場所は何回も訪れているのですが、この碑があることに初めて気づきました。何気なく碑の文面を見てびっくり。「・・・近藤塾に学び・・・甲種船長となり・・・海運界で大きな業績をあげた。」と書いてありました。ちょうど先生の業績を紹介する文章の構想を考えていたところに、偶然に近藤先生のお名前に出会い、不思議な暗合を感じました。

さて本題に入ります。鳥羽商船の校祖、近藤真琴先生の人物像や業績については、同校の「百年史」や「近藤真琴先生伝(昭和12年攻玉社発行)」を読むとよくわかりますので、ここでは詳しくは書きません(同校の図書館で閲覧可)。先生の教育方針は「和魂漢洋才」であり、ご自身は皇漢学の修行をされ、多くの和歌や漢詩を残しておられます。また書道にも才能を発揮され、これらは自筆の掛軸(短冊)として今日に伝えられ、何点かは百周年記念館の二階展示室に掲示されています。

私が、先生の貴重な掛軸に2本も直接関わることができたのは望外の幸せでした。2本とも、知り合いの古美術商の方の紹介です。一つ目は、平成19年1月に出会った先生自作の和歌です。原文はかな書きですが、意味が良くわかるように漢字を交え

て書き直すと次のような作品です。

語り合ふ 心の底の 友垣は 偽らぬより 結そむらむ。



「かな書きの書」

温容で、人格教育に力をそそぎ、「信義」をもっとも重んじた先生らしい作品です。「真琴」は「誠」に通じるものであると感得しました。この作品は鳥羽商船同窓会が購入し、現在百周年記念館二階に展示してあります。

二つ目には平成23年7月に出会いました。今度は漢文の書です。

南陽諸葛蘆 西蜀子雲亭 孔子曰  
何陋之有

これは、中唐の大詩人、劉禹錫(りゅううしゃく)の「陋室銘」という題の漢文の



最後の部分です。全文は長いので省略しますが、大意は「自分の家がいかに小さく狭いものであっても、決して恥じることはない。古来の有名人の庵室に比べることができる。孔子もそこに住む人に立派な志や徳があれば、決して陋屋ではないと言っている。」という文章です。これは先生の無欲で格調の高い清澄な心の表明であり、書自体も味わい深いものがあります。この作品は現在、家宝として、自宅に所蔵しています。



「漢文の書」

了

#### ◎近藤翁について

母校、国立鳥羽商船高専は明治14年近藤真琴翁が鳥羽の地に鳥羽商船学校を創立してから、今年で137年目を迎えます。

近藤真琴は我が国における商船教育の草分けとして、明治6大教育家教育家の一人に推されていますが、かな文字普及の推進論者としても名を馳せていました。

今回は母校元教授の水野逸夫先生に近藤翁自筆の掛け軸について小文にまとめて頂きました。

鳥羽同窓会事務局 江崎 隆夫

#### ◎「田坂為松顕彰碑」について

筆者の水野先生が弓削商船学校近の海岸で偶然に出合った顕彰碑の田坂為松氏は弓削島出身で高級船員を主体とした海員倶楽部の設立に参画し船員の待遇改善に尽力された。また、氏の長兄の田坂初太郎氏も実地の普通船員から甲種船長の資格を取得し船長となり、やがて田崎汽船の社主となったのち、日本ペイント株式会社を創設、その初代社長に就任している。弓削島はこの田崎兄弟のように実地上りの船長、幹部船員を多く輩出している。明治34年に弓削海員学校を誕生させる際に、その原動力となったのはこうした海運界の先輩たちであった。

「海父・濱田国太郎—海員組合を創った男  
村上 貢 著より抜粋」

#### ◎パリシップ2017

今年5月25日～27日今治市で国際海事展が開催される。その会場には田坂初太郎氏の紹介ブースも用意される予定です。



パリシップ2017（5月25日～27日）  
で展示される田坂初太郎ブース

## 小動物と遊ぶ

名誉会員 田中善治

横須賀に定住してから43年、色々な小動物と付き合ってきた。

子供が物心つき始めたころは、知人から籠ごとセキセイインコを譲り受けて家族みんなで可愛がった。毎朝の餌やりと籠の掃除は長男の仕事とした。

子供らのたつての希望で、真っ白い中型の犬も知人の紹介でもらい受けた。散歩大好き元気な雄犬だったが、加齢とともに足腰に異常を来し、最後は歩行困難で寝たきりとなって、獣医による安楽死を選んだ。15年の命だった。

金魚鉢や、庭に埋め込んだプラスチック製の心字池に金魚やメダカは勿論のこと、故郷・山形の田んぼから捕ってきた鮎やドジョウなども飼って楽しんだ。しかし、鉢の金魚はことごとく野良猫にやられたし、心字池の鮎や金魚はアライグマに食べられてしまった。或る朝、心字池のそばの芝生に赤、黒、白色の大量の鱗が散乱していた。唯一生き残ったのはメダカだった。小さすぎて食指が動かなかったのか、食べてもおいしくなかったのか……。現在、庭に埋め込んだ3つの陶器製の鉢に略100尾のメダカが、水のぬくもりをマダカ・マダカと待っている。

違法を承知で目白を飼ったこともあった。この目白は小鳥大好きの内航船員が度々寄港する北海道のM港で捕まえたもので、そのうちの一羽を彼から譲り受けたものである。日中、鳥籠を庭のみかんの木に吊るしてやるとチュッ チュッと軽快に動き回った。春には我が団地を睥睨するかのように良く透きとおった声を張り上げた。某日、当時勤務してい

た東京・丸ビルから帰宅したのは陽が落ちて間もない暗闇だった。籠を取り入れるべく、玄関からトーチランプを持ち出し、籠を照らし出してみるともぬけの空で、瞬間、背筋が凍った。籠のすぐ下の枝に特大のシマヘビが腹を膨らませてゆっくりくねっていた。急いで家に入って着替え、近くにあった棒切れを手へへビ退治に意気込んだ。が、敵も然るもの、身の危険を感じて姿を消してしまった。たまたま仕事から帰ってきた向かいの家の長男も一緒になって探したが、我が愛する目白を飲み込んだ憎っくきヘビはついに姿をみせなかった。

籠を外に出すときは糞の始末をしないで済むように、底を外して中仕切りだけにしていた。ヘビはその中仕切りを下から持ち上げて侵入したものと想われる。糞掃除の手間を省くいいアイデアと自画自賛していた私がバカだった。

せめてもの罪滅ぼしにその後毎年、餌の少ない冬に餌をあげている。大好物の蜂蜜、国産和牛のヘット、それにミカンやリンゴ等である。信用してもらえたのか、裏の庭木で巣作りをしてくれた。

去年の春、雨模様の中などに何処からともなく蛙の鳴き声が聞こえてきた。ここに住んで40年以上にもなるのに初めて聞いた。あまりにも長い間耳にしていなかったもので、妻も近所の人も蛙の鳴き声とは気づかなかったようだ。そして数日後の夜、我が家の庭で鳴きだした。どうも、庭のメダカ鉢の水に誘われたようだ。トーチランプを手にしてその姿を探したがなかなか見つからなかった。近づく足

音に反応して鳴き止んだのだろう。ようやく鉢の傍の庭木の葉陰にその姿を見つけた。何と、大人の人差し指の先程の大きさで、葉っぱと同じ常盤色の青蛙だった。この小さな体でよくぞ安眠を妨害するほどの大きな鳴き声を出すものよ、と感心した。近くに水溜りも、小川も、ましてや田んぼもないのにどこで誕生し、どうやって我が家にたどり着いたのか、想像は尽きなかった。何時しか、一匹だけでは寂しかろうと愛情をもって鳴き声を聞くようになった。

5月14日、継母の一周忌法要のため山形に行った折、弟に頼んで同種の青蛙を4匹捕まえてもらい、ペットボトルに入れて新幹線で帰ってきた。早速メダカの鉢に放してやったが、長旅のせい、水の違いに戸惑っているのか、動きが鈍かった。だが翌日の夕方から、山形の蛙も共に鳴きだしてにぎやかな蛙の合唱となった。心細い山形の蛙は多少ズーズー調だった。近所の方々は何十年振りかで聞いた蛙の合唱にノスタルジアを覚えたのか、この話で持ち切りだった。私は話の提供者として嬉しい反面、子育て中の方に迷惑ではないか、安眠を妨害されて怒っている方がおられるのではないかと、心底穏やかではなかった。しかし、その杞憂も数日で解消した。或る晩を堺にピタリと鳴き声が止んだのである。そして、いくら探しても一匹も見つけることができなかった。子連れで夜な夜な徘徊しているというアライグマにやられたのか、ヘビに呑み込まれたのか、将(はた)又(また)カラスの仕業か、確かめる術はない。

新幹線には乗らず山形にさえおれば、子孫と共に合唱を楽しみ、悠々自適の生活を送っていたであろうに……。取り返しのつかないことをしてしまった。

現在、我が屋敷内の3か所に四十雀(しじゅうから)用の巣箱を設置してある。毎年春にな

ると、どの巣箱で子育てしてくれるのかが楽しみである。小鳥への餌やりや巣箱には小さい時から興味があった。初めて、二階ベランダの支柱に自作の巣箱を取り付けたのは22年前であった。自分としては絶好の位置に取り付けた積りだったが、巣作りしてくれたのはその2年後だった。



餌を運ぶ四十雀の親鳥

毎年冬の気配を感じるようになる11月、どこからともなく四十雀の番(つがい)が現れ、巣箱の内覧会が始まる。屋敷の周囲を見て回った後、巣箱の直径28ミリの出入口孔に首を突っ込んだりして居住環境を点検する。このような行動を3か所の巣箱で行い、アッという間に飛び去って行く。そして数週間後に再び現れたときは、気に入った1か所の巣箱のみをさらに丁寧に点検し、夫婦交代で箱の中に入って内部をチェックする。これを冬の間数回繰り返すとほぼ間違いなく、その箱で子育てすることになる。番が複数の場合は争いを避けるためか、別の巣箱で、しかも時期をずらして子育てをする。ある年の冬、毎年使用しているいつもの箱に全然寄り付か

いことがあった。気になって箱を取り外して開けてみると、尻尾の半分が欠落している大きなトカゲが冬眠中だった。また、箱の板の一部が蟻に食い荒らされてボロボロになったこともあった。

四十雀の子供たちは5月から7月にかけて巣立っていく。夫婦でなりふり構わず懸命に餌を運ぶ姿にエールを送りながら巣立ちを待つ。そして、ついにその時が来ると親鳥の鳴き声が急に説得調になり、時には恨み節になって感動的なドラマが始まるのである。その説得調の鳴き声は大抵巣立ちの前日の午後である。「もう、そろそろ巣立ちだからネ。いつまでも親に頼っていてはろくな者にならないヨ。」子供等はわかっているのかどうか、箱の中でじゃれ合っているらしくゴソゴソと音がする。翌、早朝ら巣立ちを促す親の鳴き声を聞くが巣箱に入ろうとはしない。子供らはその声に反応して時々入口孔からヒョイとあどけない顔を出す。代わる代わる顔を出しているのだろうが何羽いるのかわからない。おなかが空いて餌をねだっているようにも見える。

昼頃になると親もしびれを切らし、心を鬼にして餌をくわえて箱に入り、餌をくわえたまますぐに出てきた。「おなかが空いているのなら早く出てらっしゃい！」と行動で示したのであろう。そして、箱の裏側の庭木に止まって「どうして出てこないの！ どうして親の言うことがきけないの？ お前たちをここまで育てたのは誰だと思っているの！ 全く！」と恨み節が長々と続いた。

さすがに子供等もこたえたのか最初の一羽がぎこちなく羽ばたいて飛び出し、数メートル先の庭木にもぐりこんだ。これに倣って数分置きに次々と飛び立った。うまく羽ばたけない子は目指したところまで達せず地面に落ちる、が、敵に見つからないようにすぐ物陰

に隠れる。全く飛べずに地面に落下し、そのまま息絶えたのか、数日後に白骨となったものもあった。また、巣立って数週間たち、巣箱を掃除するために開けたら、巣の中に潜り込んだ白骨死体を見つけ、心が萎えたこともあった。そういえば、5羽巣立った後なのに親鳥はその後数日間、時々餌を運んでいるのを見て、おかしいなあーと思っていた。多分、発育不全だったのだろう。子を思う親の気持ちは皆同じである。

巣立って数日後、親子揃って巣箱を訪れ、しばらくの間、中をのぞいたりして古巣に別れの挨拶をするのもルーチンワークのようである。

一回の子育てでは大体5～6羽だと思うが、山形の兄の巣箱からは最高10羽飛び立ったという。



庭先のトカゲ

野生動物の世界に人間が関わることは、自然の摂理にダメージを与えることは重々承知している積りだが、野生動物と心を通わせることは、人間ももともと野生であったことを自覚するチャンスでもある。人間は悲しいことに、競って野生本能を捨て去ることに心血を注いでいるように思えてならない。

(平成29年3月10日 記)

協会本部ビルの裏手に猫の額ほどの小さな公園がある。天気の良い日には近くのオフィスからお追い出された愛煙家が周囲に気兼ねなく煙を揺らすことのできる憩いの場所となっている。

その公園の敷地内の区立高齢者センターの建物の壁に寄り添うように「周恩来ここに学ぶ」の細長い大人の背丈ほどの花崗岩の石碑が建っている。東京都教育委員会作成の石碑の説明文によれば；

周恩来は1898年（明治31年）に江蘇省の比較的豊かな都市知識人の家庭に生まれたが、父の代に貧困に陥り、養子に出されるなど苦勞をした。天津の南開学校に学んで学業優秀だったので、当時の多くの青年と同じく留学を目指し、旅費が安くあがる近隣国日本を選び、1917年（大正6年9月）に東京にやってきた。

19歳だった周恩来が来日した翌年の大正7年1月1日から留學生活を書き綴った日記が残されている。（小学館文庫）周恩来は東京に下宿し、日本語の習得のための東亜学院（神田・神保町）で学びながら浅草や早稲田を歩きまわって日本の生活を楽しんでいる。その留學中にロシア革命（大正6年3月ロシア2月革命）を知り、祖国の現状を憂えるようになった。当時は日清戦争後の中国人青年の日本留學の最盛期で、周恩来も留學生仲間と議論をしながら政治活動に開眼していった。しかし、目的だった進學は東京高等師範学校（後の東京教育大、現在の筑波大）、第一高等学校（後の東大教養学部）の受験に立て続けに失敗し、挫折する。

早稲田大学や慶応義塾に入学する仲間も多かったが、経済的に余裕のない周恩来は官立学校合格者に中国政府から学費と生活費

援助制度があったため官立学校入学を目指した。そこで、東京高師と第一高等学校を受験したが、いずれも失敗する。

一高不合格と

なった7月5日の日記には次のように自分の不甲斐なきを書き残している。（日記引用）「酷暑に、故郷の情況を思う。日本にやって来たのに日本語をうまく話せず、どうして大いに恥じずにいられよう！

これを自暴自棄というのだ。いかなる国を救うのか！ いかなる家を受容するのか！ 官立学校に合格できない、この恥は生涯拭い去ることができない！」

日記では7月28日 夏休みを利用して入試失敗の気持ちを抱き1度帰国。約1ヶ月を故郷天津で友人と過ごし9月4日再び東京に戻る。

しかし、翌大正8年3月母校南開学校に大学部の新設を知り日本留學を断念し帰國を決意する。

途中京都の友人を訪ね、嵐山に遊び漢詩（雨中嵐山）を残す。この漢詩は嵐山公園内の周恩来記念碑として残されている。

ここは京都を訪問する中国人旅行者の重要な観光スポットとなっている。



周恩来ここに学ぶの記念碑



## 海事ニュース

### ◇関東運輸局/海技者セミナー、16年度は2回開催で、延べ92社1団体参加

関東運輸局は、2月10日に東京・お台場で開いた船員就業イベント「めざせ!海技者セミナー IN TOKYO」の結果をまとめた。それによると参加人数は119人、企業数は50社で、企業の説明や面接は381回行われた。東京でのセミナーは昨年6月以来で、同一年度での複数回の開催は全国で初めて。2016年度は通算延べ92社1団体、526人が参加し、1205回の説明・面接機会があった。

国土交通省は主に内航海運事業者の若年船員確保を図るため、各地方運輸局単位で「海技者セミナー」を主催している。東京でのセミナーは2月開催分で通算13回目。同月のセミナーは主に商船系高等専門学校生の就職機会拡大を目的に、日本船主協会と関東地方船員対策協議会が協力し実施した。

当日の参加者アンケートでは多くの人から「満足できた」と回答があった一方、企業へのアンケートでは「今後も継続して参加したい」「自社の業務内容や勤務について説明する良い機会を得られた」との意見があったとしている。

(日本海事新聞 2017年2月20日付け)

### ◇海事局長/早期改正へ万全期す。トン数税、再拡充には時間

国土交通省の羽尾一郎海事局長は2月27日の記者会見で、トン数標準税制の2018年度からの再拡充に必要な海上運送法と船員法を改正する法律案の早期審議と成立に向け「万全の準備をしていきたい」と意欲を示した。さらなる拡充要望が業界団体から出てい

ることに対しては、多くの検討事項があることから「さらに精査しないといけない。一定の時間がかかるものだと思っている」と述べた。

法律案は、今国会への国交省提出法案の中で真っ先に閣議決定されたもの。予算関連法案であることなどから「できるだけ早期の審議をお願いしたい。なるべく早い審議・成立を期待している」と話した。

再拡充後については、「経済安全保障という観点からみれば(対象船舶目標数は)450隻だが、現在は240隻程度。まだまだ増やさなければいけない」としつつも、他国の船社との競争に向けたイコールフットィング、再拡充の効果など検討すべき事項が多々あることを紹介。そのため、「これらを認識しながら、今後を見ていかなければいけない」と述べるにとどめた。

(日本海事新聞 2017年2月28日付け)

### ◇「燃料油環境規制対応方策検討会議」が初会合/SOx強化規制への対応を協議

官民の海事関係者でSOX(硫黄酸化物)の強化規制への対応を協議する「燃料油環境規制対応方策検討会議」の初会合が2月28日、都内で開かれた。参加した内航・外航双方の船主団体3者からは2020年の規制強化の準備についての懸念が相次いで寄せられ、情報交換とともに危機感の共有が図られた。

国土交通省の羽尾一郎海事局長はあいさつで、規制強化が外航業界では他国との国際競争、内航業界では陸上輸送との競争に影響する可能性もあるとし、「この場を業界内はもとより、業界外とも連携するためのスタートにしたい」と述べた。

船主団体からは、日本旅客船協会の福武章夫会長が、特に強化規制の適合外となる現行

C 重油を利用する事業者にとって切実な問題だとした上で「(燃料の)価格上昇幅の見当もつかず、経営判断をできずにいる」と窮状にあることを強調。

日本内航海運組合総連合会の小比加恒久会長も「(荷物が陸上輸送に逃げる)逆モデルシフトすら招きかねない。どうか対応をお願いしたい」と強い危機感を表明した。

(日本海事新聞 2017年3月1日付け)

#### ◇文化庁/「日本丸」重文指定へ。海上保存の帆船で初

横浜市内で保存・公開されている帆船「日本丸」(2,278総トン、川崎造船所(現川崎重工業)で1930年竣工)が国の重要文化財に指定されることとなった。3月10日の文化審議会での重文指定の答申が出たもので、海上保存されている帆船が重文指定を受けるのは初めて。海上保存されている船舶の重文指定としては2016年の貨客船「氷川丸」(横浜市中区)に次ぎ2隻目となる。

横浜市の林文子市長は「日本丸」の重文指定について「建造以来54年間にわたり練習船として活躍し、わが国の海運を支える人材の育成に大きく貢献した。横浜への誘致に当たっては83万人もの署名が集まった。この貴重な財産を、しっかりと後世に引き継いでいきたい」とコメントした。

横浜市内で海上保存されている船舶2隻が重文指定されることとなり、「海洋都市横浜」を旗印にまちづくりを進めている同市にとって海洋観光面からも追い風となる。「日本丸」現船長の飯田敏夫・帆船日本丸記念財団常務理事は本紙の取材に応じ「2隻続けて重文指定となることは国民の目を海運や船に向ける対象が増えたものと受け止めている。今回の指定を外航・内航船員の確保・育成につなげ

ていきたい」と話した。

今回の重文指定答申では、船員養成や海運への貢献に加え、保存・公開を通じて戦前建造船の構造・艦装を伝えていることが造船技術研究面からも評価された。同船が浮かぶ日本丸メモリアルパーク(横浜市西区)の石造りドック(旧横浜船渠第1号船渠)は既に重文指定されている。

「日本丸」重文指定のもう一つの特徴は、同船が現在も船舶資格(平水区域航行練習船)を持つ形で海上保存されている船舶として初めて指定された点。同船は船舶検査を毎年受けている。

(日本海事新聞 2017年3月13日付け)



# 全船協の無料船員職業紹介所

事務局

当協会は、船員教育機関の卒業生、在校生、海技免状受有者及び当協会の趣旨に賛同した個人、法人を会員とする公益団体であり、内閣府公益認定等委員会により承認された公益事業（海事調査研究、船員教育支援、海事普及啓発活動、船員職業紹介等）を主な業務としております。

「無料船員職業紹介事業」は当協会における大きな柱の一本であり、平成19年8月1日に国土交通大臣より許可を受けてから今日まで、当協会の会員のみならず多くの方々のご相談を承っております。

四面環海である日本では、海上輸送が国民生活や経済を支えており、その重要性は説明するまでもありません。その海上輸送に携わる日本人船員が極端に減少し、海洋基本法、海洋基本計画のもと官・産・学連携し育成・確保に積極的に取り組んでおりますが、その効果は限定的であり、確保する船員数は所期

の目標に達しておりません。

他方、船員教育機関を卒業した若手船員はそれぞれ外航船社および内航船社に就職しておりますが、自分を取り巻く環境変化に対応しきれず、志半ばで下船し船員から陸上産業等へ転職するケースが多くみられます。

平成25年全船協の今後について会員の皆様にお聞きしたアンケートでも、転職サポートを要望する意見が出されております。

こうした問題解決に有効な手段である、当協会付設の「無料船員職業紹介所」の存在を会員の方をはじめ会員以外の方々にも広く知っていただくため、下段にPR用チラシを掲載しましたので、友人、知人、そして、ご家族の皆様にも、お伝えいただければ幸甚に存じます。

先ず気軽にご相談ください。事務局一同皆様からのコンタクトをお待ちしております。

あなたの針路を決めるお手伝いをします！



Photo by Capt. Akamine

就職・転職サポートの**全船協**

無料船員職業紹介所（国交省許可第8号）

郵便番号 101-0051 東京都千代田区神田神保町2-2-34

千代田三信ビル8階 地下鉄神保町駅徒歩1分

（一般社団法人）全日本船員協会 Tel: 03-3330-2654 Fax: 03-3330-2653

E-mail: [hanzai@moskai.com](mailto:hanzai@moskai.com) URL: <http://www.moskai.com>

先ず

# 相談!

海事!

よろずや!

ご家族も!

開所時間: 午前 09:00 - 午後 5:00 (月~金) \*



## 海運・造船業界の求人動向 (2017年03月末現在)

### 【全体の動き】

新年度の採用計画に基づいた活動が始まり、すでに4月以降の中途採用者を決定した企業が複数社ある。積極的な採用活動は、現在も続いている。

船主業務において、15～20年程度の実務経験を必要とする求人が出始めている。企業は実務経験の豊富な方を採用することで、新たな事業領域を模索しているとみられる。営業系人材（船舶運航管理、船舶用船）や、船舶管理業務における工務監督、海務監督の採用ニーズは業種問わず増加している。

### 【営業系・船舶運航管理、用船など】

船種や管理職経験を問うベテラン採用の一方で、経験が浅い方も視野に入れたポテンシャル採用を行い、特に外航船乗船経験のある方をオペレーション担当者として社内で育成・教育する動きが増えている。しかし、適性や英語力、志望動機や転職理由も確認するなど、選考は慎重に進めている。

### 【海技系・船舶管理、工務・海務監督】

これまでと変わらず、求人依頼が最も多い職種であり、採用活動も活発である。採用条件は、海上経験と陸上経験の両方を求めるケースと、海上経験のみを求めるケースの2つに分かれる。マンニングや建造監督の募集もあり、船種を問う求人内容が増えている。

### 【その他・船級、外資メーカーなど】

外資系船級協会では、少数ではあるが電気

や素材等の専門に特化した求人がある。船用機器の技術営業の求人では、乗船経験者を期待するケースが多い。

### ■最新求人動向からみる 転職アドバイス

まだまだ厳しい市況下でありながら、企業の採用意欲が増している状況です。特に20代～30代半ばくらいまでの乗船経験を有する方を、社内で育成・教育を目的として採用したい意向が強くなっています。船舶管理（海務監督、工務監督）のみならず、営業系職種でも乗船経験を積極的に採用する方針を出している企業が複数社ありますので、積極的にお問合せください。40代～50代のベテラン層の船舶管理求人のご依頼は、依然多くいただいておりますが、船種や免状に加え、転職理由についてもじっくり確認する傾向にありますので、遠慮なくご相談ください。

### <情報提供元>

キャプラン株式会社

担当：佐々木

TEL：03-3497-9335

MAIL：marine@mail.caplan.jp



## 全船協講演会…今日の現状と運命、そこに不可欠な日本人の心

恵那市言志四録普及特命大使、拓殖大学 客員教授 窪田 哲夫氏

演題： 今日の現状と運命、そこに不可欠な日本人の心と（企業人のいき方）

……佐藤一斎「言志四録」に見る日本精神……

「人として生まれたからには、事を成すためにあり」

日時： 平成29年1月18日（水） 18時～20時

場所： 日本教育会館 603号室

### 講演要旨

#### はじめに

今、時代の変わり目の日本、日本人としての自覚の時。覚悟の時である。幕末維新の頃には、アジア諸国、中国が列強から植民地化、徹底した差別を受け、日本も動揺した。

それを克服して明治維新がなった。その頃と時代は異なるが、変化の時代と経済不況、国内の閉塞状態、人心の大いなる混迷、国外問題では日米関係、中国、北朝鮮、ロシア、との外交問題等

（中国尖閣列島、韓国竹島、ロシア北方四島、台湾問題、南シナ海問題などの領土・領海問題、北朝鮮の核ミサイル、拉致問題、韓国の慰安婦問題等）、さらには、極洋の水が溶ける、森林伐採、地球環境問題と課題山積である。さらに、米国のドナルド・トランプ大統領の就任、ヨーロッパ各国の選挙も含め激変の様相である。

#### 1. 日本人にとって、欠くべからざるもの、必要不可欠な資質

（リーダとしての心得、先人、先輩の教訓等）

##### （1）御心得箇条

「ものごとは、輩が肝心、継続せよ」、「取り治め、聞くことに努め、怠りなく」

「政事には、寡黙な慎み、こなしこと」、「信の人、言を尽くして、相談を」

「政事とは、主君、家臣の、礼節なり」、「側近に、遠慮はいらす、主張せよ」

「異見こそ、余程の忠誠、良き家臣」、「領内に、心得実践、道は孝行」等

##### （2）重臣心得箇条（別紙参照）

##### （3）指導者、統括者、上に立つもの十訓（別紙参照）

安岡正篤先生の話の中に三つの原則、リーダというものは、三つの的、多元的、長期的にものを見なさい。根本的に見なさい。（枝葉末節に走らない）

主体的に、複眼でものをみなさい。それが大事ですよ。佐藤一斎も言っている。

『一物の是非を見て、而して大体の是非を問わず。一時の利害に拘りて、而して久遠の利害を察せず。政を為すに此くの如くなれば国危うし。』（言志録180条）

#### 2. 現代日本、現代世界の課題、問題点等（世界の13の危機の課題。日本の課題）

（1）凶悪犯罪、家庭崩壊、教育の崩壊（解かっているのにやらない）

- (2) 企業人、あらゆる組織倫理の崩壊（企業倫理の欠如）
- (3) 政治家、官僚の腐敗と崩壊（民を忘れ、公人としての自覚の欠如）
- (4) マスコミ言論人、学識経験者の哲学の崩壊（木鐸、正しいことを示し、覚醒）
- (5) 三つの甘えの傘（自分、組織、地政学的）（自立、自律、主体性の欠如）
- (6) 金融市場経済万能主義の破綻（数値、統制、自己中心、物、金）

中谷巖氏の懺悔、誤りだったの本、NHKの金融資本主義の特番等。少子化問題等

### 3. 今必要な「日本精神」、世界で失われているもの

（西洋の考え方と、東洋、日本の考え方の違い）

日本では、「渾一的」という言葉がある。「渾一的」さんずい（<sup>ん</sup>）に軍とかき、一で「こんいつ」と読む。その意味は「それぞれ違ったものが、一つにとけあう。」というもの。

「日本人と言うものは渾一的である。」これが日本人の哲学。「天人合一」もそう。皆ぶつぎりして、これはこれ、それはそれではない。

みな連携しているのだから、家族もみな一緒。地域も一緒。みんなは一緒、利益は皆あるけど、世界はいっしょ。小さな地球でどうして人の殺し合いをする。

「日本に哲学はない」といわれたが、それは西洋哲学を基準にすると無いという意味である。今は、東洋の、日本の哲学、考え方と言うものが、世界を救う。

西洋の哲学は理知的、東洋の哲学は情意的。西洋の哲学は分析的（単純な要素に分解）、東洋の哲学は渾一的（違ったものが溶け合って一つにする）。従って西洋の哲学は枝葉に走り、東洋は根源に還る。いずれも、人間の生存に取って欠くべがざるものであるが、この二つの中、いずれが根本なのか。西洋哲学が横行する現代、大いに顧慮（深く考える）すべきこと。東洋哲学は理情一致である。西洋哲学は理一辺倒である。西洋哲学は理先情後、朱子学は理情併進、陽明学は理情一致と言える。

「太上は天を師とし、その次は人を師とし、その次は経を師とす」（言志録2条）

### 4. 佐藤一斎「言志四録」に見る、私たちに必要な精神と教え（「言志四録」存在意味と箇条の抜粋）

#### (1) 上に立つものとしての箇条

- ①西郷南洲手抄「言志四録」
- ②新渡戸稲造の「修養」（「言志四録」）（別紙資料）
- ③その他の人々
- ④船乗りの「言志四録」

#### (2) 上に立つものが心の支えとしたもの

- ①味の素、江頭邦雄氏（心の支え、心の糧）
- ②二宮中学校長、越川春樹（自分を守る柱）
- ③小説家、神渡良平（自分を創り上げる魂）
- ④住友生命、新井正明氏（らしさ、風土、流儀）
- ⑤第25代京大総長、松本紘氏（学風、東大に）等

5. 今、人間としてなすべきこと。(現状の課題、時代の激変、己の役割、生き方)  
 人間、生まれてきたからには、事を為すためにあり。 坂本竜馬  
 一燈照、運命というもの、父と母の間に生まれてきた、自然の意思である。  
 (場、ヘレンケラー、五体不満足、自閉症、身体障害、難病を克服)  
 一生懸命に生きることがひととしての使命である。  
 仕事は自分の目標として決めた人も、これから目標とする人も、今与えられている  
 仕事をしている人も、それが定められた天命である。  
 今ここを、今を懸命に生きること。  
 善いと思うことを実践することが、人間の道である。常に決心、覚悟の連続である。

おわりに

人間は天地自然に生かされている。命を大切に、その命と心を燃やせ。魂を燃やせ。  
 良いと思うことを実践する。自らを鍛えるのに、省察克治、事上練習、人に優しく、自らに  
 厳しく。

「我生きる故に我あり。人生、日々生き活きと生ききる。」

「人間の最少単位は個人でない、人間の最少単位は・・・」

#### 参考資料

1. 佐藤一斎、この男が居なかったら、日本の夜明けは無かったかもしれない。(パンフ)
2. 千年前の日本の兵書「戦闘経」月刊誌「致知」の記事 致知出版
3. 新渡戸稲造の「修養」(言志四録)考 「新渡戸稲造の世界25号」新渡戸基金編
4. 「李登輝から日本へ贈る言葉」李登輝著
5. 「新・台湾の主張」李登輝著 PHP 新書
6. 「西郷南洲、手抄言志四録を読む」渡邊五郎三郎著 致知出版
7. 「重職心得箇条」窪田哲夫著 理想書店
8. 「佐藤一斎 克己の思想」栗原剛 講談社学術文庫
9. 「最強の人生指南書」・・・佐藤一斎『言志四録』を読む」斉藤孝著 祥伝社
10. 「家族で楽しむ『言志四録』」NPO 岩村一斎塾 PHP 研究所
11. 「言志四録味読」菅原兵治著 黎明書房
12. 「佐藤一斎『言志四録』を読む」神渡良平 致知出版
13. 「安岡正博 人生を変える言葉」 講談社+α文庫
14. 「言志四録」川上正光著 講談社学術文庫
15. 人生自戒10訓、新渡戸稲造 「修養」タチバナ文庫
16. 「縄文人の遙かなる旅路」前田良一著 日経ビジネス文庫
17. 「カールホバー「果てしなき探究」批判的合理主義」森博著
18. 「私たちの哲学 批判的合理主義の哲学の考え方」
19. 「いかに生きべきか 東洋倫理概論」安岡正篤著 致知出版

追加資料 船乗りの「言志四録」

江田島の精神「五省」

その江田島精神を言葉で表現したのが、「五省」(ごせい) すなわち五つの反省で、海軍兵学校時代に教育の基本とされ、現在も変わらず教育参考館に掲げられています。

## 「五省」

- 一、 至誠<sup>しよ</sup>に悖<sup>へい</sup>るなかりしか
- 二、 言行<sup>げんぎょう</sup>に恥<sup>は</sup>づるなかりしか
- 三、 気力<sup>きりき</sup>に缺<sup>か</sup>くるなかりしか
- 四、 努力<sup>うら</sup>に憾<sup>が</sup>みなかりしか
- 五、 不精<sup>ふせい</sup>に亘<sup>わた</sup>るなかりしか



窪田先生 おすすめの参考図書 1例

了

# 北から南から



## 富山高等専門学校

### 学校活動

◎平成28年度 商船学科席上課程修了式を举行  
2月24日、商船学科席上課程修了式を举行しました。本年度は36名（航海コース17名、機関コース19名）の学生が席上課程を修了しました。修了式では代表学生が、富山高専生の誇りを持って、これまで学んできたことを練習船実習の中で存分に発揮したいと答辞を述べました。席上課程を修了した36名の学生は、4月から約半年の練習船実習に臨みます。



席上課程修了式

### ◎八賀先生による最終講義

2月24日、平成28年度をもって退官される八賀先生の最終講義が教職員、学生に対して行われました。講義では本校に赴任してからの教育研究や思い出について語られました。また、入学から卒業までの5年半を通して担任をもたれたクラスの同窓会で撮影した写真とともに、商船学科卒業生それぞれの活躍ぶりについても紹介されました。当時を知る教員にとっては非常に懐かしく、また聴講していた学生にとっては刺激にもなった講演でした。



八賀先生の最終講義 慰労の花束贈呈

### ◎SERC (South Eastern Regional College) 教員によるアクティブラーニングセミナーを開催

2月27日から3月3日にかけて SERC より2名の先生方が来日され、ICT ツールを用いたアクティブラーニング型授業等に関するセミナーが、射水キャンパスと本郷キャンパスで実施されました。セミナーではいくつかのソフトウェアを用いて、プレゼンテーション力の向上や、グループワーク・反転授業等のための教材作成に関するワークショップを行いました。各教員の授業・教育スタイルに合ったICTツールの利用法を検討するきっかけとなりました。



SERCアクティブラーニングセミナー

### ◎平成28年度 卒業証書・修了証書授与式を挙

3月16日、卒業証書・修了証書授与式がオーバードホールにて挙行されました。本年度の本科卒業生は211名(商船学科を除く5学科)、専攻科修了生は42名でした。

授与式では石原校長が、卒業研究などで得た課題解決プロセスの経験を大切にしたい、また物事を俯瞰的に眺め主体的に行動すること、失敗を恐れずに粘り強く挑戦を続けること、人との出会いを大切にすることなど、社会や大学において常に心掛けるべきことについて告示を述べました。

また卒業生代表は、富山高専で得た知識と経験、多くの人との繋がりを糧に、国際化が進む社会の中で活躍できるように日々励んでいきたいと答辞を述べました。



卒業証書・修了証書授与式

### ◎教職員の異動

平成28年度をもって、富山高専 射水キャンパスでは以下の先生方が退職されました。

#### 【退職】

八賀正可先生(商船学科)

中川宏司先生(若潮丸)

野村誠先生(若潮丸)

### ◎平成29年度前期(4月～8月)の主な行事予定

4月6日	入学式
4月7日	始業式・対面式・前期授業開始
4月21日	授業参観
5月10, 11日	1年生合宿研修
5月26日	球技大会
8月7日	終業式

(教務主事補 商船学科 山田圭祐)

### ◎学生会選挙

1月18日(水)、本校射水キャンパスにおいて平成29年度学生会長選挙が実施されました。

今回は3名の学生が立候補し、2年ぶりに複数候補者の争う選挙となりました。投票に先立ち、第二体育館にて立会演説会が実施され、各立候補者の応援演説および立候補者演説が行われました。開票の結果、有効投票481票のうちの192票を獲得した学生が当選し、次年度学生会長が決定しました。



学生会選挙(立候補者演説)



学生会選挙(投票風景)

### ◎第10回全国高等専門学校英語プレゼンテーションコンテスト

1月28日(土)と29日(日)の両日、東京の国立オリンピック記念青少年総合センターで開催された第10回全国高等専門学校英語プレゼンテーションコンテストのスピーチ部門に、東海北陸地区代表として本校の学生が出場し、見事優勝しました。また、同時に特別賞(全国高等専門学校連合会会長賞)も受賞しました。



全国高専英語プレゼンテーションコンテスト

(学生主事補 商船学科 向瀬紀一郎)

## 同窓会便り

### 北斗会 とやまの春便り

### 卒業と入学

日本列島の南から桜の開花宣言が届き始めた3月16日、母校では卒業式があり2学科81名を社会に送り出しました。近年の卒業生は半数以上が大学編入の進学組であることより、祝辞や送辞に「巣立ち」や「旅立ち」という言葉が似合わなくなっているように感じられます。

出る者に対し入る者といえは新入生。2月22日に入学者選抜試験が行われ、商船学科40名、国際ビジネス学科43名、電子情報学科43名が2.1倍の競争を突破して4月に入学してくることになりました。今年度からは「専願入試」方式となり出願倍率を心配していたところ、何とか2倍を超えることができたことで関係者一同からは安堵のため息が出たとか・・・？

4月には新入生と一緒に新校長も迎えることになり、学校関係者一同は例年と違った雰囲気の中で年度末を過ごしているようです。

### 新校長赴任

新校長は久しぶりに東京海洋大学からの赴任となります。

賞雅 寛而 (たかまさ ともじ) 63歳、  
東京海洋大学 学術研究院教授、元職は海洋大学海洋科学技術研究科長、副学長。

今後の本校発展のための活躍に期待したいと思います。

### 北斗会の会見年度変更について

前回の「とやま便り」でもお知らせしましたが、「北斗会」の会計年度が29年度より4月—3月となるため、例年行われている事業の変更が以下の通りになります。9月に発刊していた「会報」は平成30年2~3月に発刊、11月に開催していた「総会」は平成30年5月に開催します。

### ご案内

7月8日(土)に北斗会東北支部において「秋田県人会」の発足を開催します。本誌を見た方で秋田出身の同窓生をご存知の方には連絡協力をお願いします。また、詳細は以下のところにお問い合わせください。

高橋 (旧三浦) 茂 (N63高専2期)

E10236-32-2689



## 鳥羽商船高等専門学校

### ◎「ロボット教室」

平成28年10月22日(土)に地元の池上町を対象とした、小学生親子で楽しく遊ぶ「ロボット教室」を開催いたしました。この講座は、本校が取り組む地域貢献活動の一環として、地元住民からの強い要望があり毎年実施しています。

今年度は、小学生親子16組が参加し、北原制御情報工学科准教授から「2チャンネル リモコン・ボクシングファイター」の作り方を学んだあと、早速、製作に取り組み、「ものづくり」の面白さ・楽しさを体験しました。



### ◎公開講座「小学生向けバレーボール教室」

平成28年10月15日(土)及び10月22日(土)に、公開講座「小学生のためのバレーボール教室」を開催いたしました。

この講座は、バレーボールを楽しんでいる小学生を対象に、バレーボールの基本技術に関する練習方法など、日常のバレーボール活動に役立つ内容を学んでいただくことを目的としています。



今年度は、初心者と経験者向けに2回に分けて実

施しました。参加者は、元気に声を出しあって楽しそうに練習に励んでいました。練習終了後のアンケートでは、「すごく楽しかった」、「今度は試合もしたい」、「来年も参加したい」等の声が多く寄せられました。

### ◎「みえリーディング産業展2016」に出展

平成28年11月11日(金)・12日(土)に「みえリーディング産業展2016」が四日市ドームで開催されました。

同産業展は、県内最大級の総合見本市で、県内外の200以上の企業、団体、行政、大学、高専などのブースが開設され、例年、4,000名を超える来場者があります。

本校からは、「グローバルステージで活躍しよう」をキャッチコピーに、各学科紹介のパネル展示や、ドローンを利用した防災減災地図作成システム「みつばちず」と害獣柵遠隔監視・操作システム「まるみえホカクン」の展示を行いました。



### ◎東海北陸地区高等専門学校

#### 英語スピーチコンテストで3位入賞

平成28年11月12日(土)富山高等専門学校本郷キャンパスで開催された、「第10回東海北陸地区高等専門学校英語スピーチコンテスト」において 商船学科2年の見代健君が3位に入賞しました。参加者は16名でした(2位までが全国大会に出場できます)。

タイトルは「Lessons Learned from a Horrendous Accident at Sea: the Creation of the BRM System」でした。

全出場者の中で唯一専門科目に関連する内容で

あったことが高く評価されました。



### ◎本校練習船「鳥羽丸」が名古屋港にて「海王丸セイルドリル見学航海」及び一般公開

平成28年11月11日から13日の間、本校練習船「鳥羽丸」は名古屋港水族館南側緑地護岸に寄港しました。12日の午前中は「船内一般公開」を行い、専攻科生及び商船学科5年生の有志による船内案内を行いました。

午後は一般の小学生及び中学生を対象とした「海王丸セイルドリル見学及び名古屋港ミニクルーズ」を実施いたしました。



海技教育機構の先生より「帆船海王丸」や船や港の話など分かり易く説明していただきました。天候にも恵まれ、船内一般公開及び「海王丸セイルドリル見学及び名古屋港港内のミニクルーズ」とも大盛況でした。

### ◎校内マラソン大会を開催

平成28年11月30日(水)に全学生参加の校内マラソン大会が開催されました。

堅神町内を周回する男子4.9キロ、女子3.6キロのコースを男子490名、女子71名が出場しました。学生は、日頃の鍛錬の成果を十分に発揮し、走りきりました。今年も近隣住民の方の支援により、無事終了することができました。ありがとうございました。



### ◎第5回 気象文化大賞「高校・高専 気象観測機器コンテスト」 最優秀賞・優秀賞 受賞

平成28年11月19日、一般財団法人 WNI 気象文化創造センターにより開催された「高校・高専 気象観測機器コンテスト」において、制御情報工学科5年生と4年生から構成される2チームが、本選参加35校の中から最優秀賞(全国1位)と特別賞(3位相当)を受賞しました。

最優秀賞を受賞した「葉-℃グラフィー(はーとぐらふぃー)」は、スマホにサーモグラフィーを接続し植物の体温(葉温)を測定することで「植物がどれくらい水を欲しがっているか」を誰でも簡単に把握できるスマホアプリです。観測システムとしての完成度が高く実用性が期待できる点で高く評価されました。

優秀賞を受賞した「海色(うみいろ)」は、超小型の分光器を使用して海中の光を測定することで

植物プランクトンの量や海水の濁度を調査するシステムです。また、溶存酸素計と組み合わせることで赤潮の予察に役立てることが期待できます。海の色から海洋気象を観測する独創的なアイデアと予備実験に裏付けされたシステムの有効性が高く評価されました。



◎HackU2016 大阪会場  
優秀賞 2件受賞！

平成28年12月18日（日）に行われたヤフー株式会社主催のHack U 2016 大阪会場にて、本校学生の2チームが優秀賞を受賞しました。Hack U 2016は学生向けに全国4会場で開催されたアプリ開発コンテストです。本校からは6チームが出場しました。

◎■シーステーション

回転寿司のレーンをカメラで撮影し続け、食べたいネタが何秒後にくるか教えてくれるので、注文するか待つかの判断に役立ちます。ICタグでの寿司ネタの管理は導入に数百万円かかるそうで、シーステーションは廉価に導入が可能なのが評価

されました。



◎■Bee Fit

Wii Fit で体重がかかった方向を検知し、ドローンの飛行制御を行うシステムです。ヘッドマウントディスプレイにドローンのFPV映像を映すことで、本当に自分が飛んでいる気分が味わえます。Wii Fit を自分たちのシステム用に改造した点が評価されました。Bee Fitは、会場投票で決められるHappy Hacking賞もあわせて受賞しました。



◎楽天 IT 学校甲子園・決勝進出

平成29年1月13日（金）に東京ミッドタウンで開催された楽天 IT 学校甲子園において、本校制御情報工学科2年生チームが予選を勝ち抜いて決勝進出いたしました。

参加チームのほとんどが商業高校でしたが、工業系の高专ならではのプレゼンが評価されました。





## 【お知らせ】

本校練習船「鳥羽丸」の Facebook

「練習船鳥羽丸の Facebook」は、在校生の保護者の皆様や鳥羽商船高専に興味を持たれている中学生の皆様へ練習船鳥羽丸の情報を発信するため行っております。

将来の船長及び機関長を目指す商船学科の学生が奮闘する実習風景や鳥羽丸の情報などをお伝えしております。【なお、投稿日と実習日（撮影日）などは異なる場合があります。】

[ <https://www.facebook.com/tobamaru.jp> ]



Anniversary!!

2015年10月31日より「facebookを始めました。」から早1年がたち、多くの方々にご覧いただけるまでになりました。まことにありがとうございます。

このfacebookページは、在校生の保護者の皆様や鳥羽商船に興味を持たれている中学生の皆様へ練習船鳥羽丸の情報を発信するため行っております。今後ともよろしくお願いたします。



リーフ647人

投稿の反応を出す

👍 いいね!

💬 コメントする

👉 シェアする

🔒



## 鳥羽商船高専同窓会便り

彼岸も近づき春の足音が日に日に感じられるようになってきました。同窓会に近況をお知らせ致します。

◎ 制御情報科と電子機械工学科卒業式

3月11日晴天に恵まれ母校、制御情報科41名と電子機械工学科38名、専攻科10名の

仲間が希望と不安に満ちて若鷺が巣立ちました。皆様の活躍を期待申し上げます。

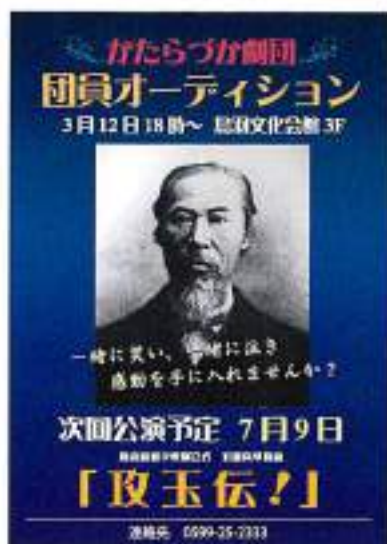


卒業懇親パーティー

◎近藤真琴物語<攻玉伝>の上演

平成28年度同窓会では近藤翁の業績を近隣市町村の皆様により深く知っていただくために近藤真琴物語の小冊子の発行と市民劇団「かたらづか」による近藤真琴物語<攻玉伝>の上演の支援が総会で決議され、小冊子の発行は3月末、<攻玉伝>の上演は7月9日（日）鳥羽市民文化会館と決まりました。

近藤翁は我が国における商船教育の草分けとして、明治6大教育家教育家の一人に推されていますが、かな文字普及の推進論者としても名を馳せていました。



「攻玉伝」講演チラシ



航海中の宮本さん

### ◎小型ヨットで西回り世界一周の旅へ

S57年N卒宮本恭夫さんが奥様英子さんと二人で西回り世界一周の長い航海に出航いたしました。Except One号(全長10m、総トン数5トン)の小型ヨットで父島、サイパン、グアムを経て今ラバウルを出てソロモン諸島へ向かっています。

5月ケアンズからクックタウン⇒ダーウィン⇒クリスマス島⇒ココス島⇒モーリシャス⇒マダガスカル⇒リチャードベイ⇒ダーバン⇒ケープタウン⇒セントヘレナ島⇒アセンション島⇒ブリッジタウン⇒キュラソー⇒クリストバル⇒パナマシティ⇒ビバオア⇒タヒチ⇒サモア⇒フィジー⇒トンガ⇒バヌアツ⇒ソロモン諸島⇒パラオ⇒フィリピン⇒台湾⇒神楽の長い航海で日本帰港は2年後の2019年12月の予定です。同窓生一同安全航海を心から祈っています。

宮本さんの記事は鳥羽商船同窓会のホームページにも掲載していますが彼のブログは <http://blog.livedoor.jp/penguinparade/>です。このブログのGPSの位置情報で彼の現在位置が確認できます。同窓の皆さん、ときどきご確認のうえ激励のメッセージを送ってください。



カモメも便乗?

### ◎平成29年同窓会総会

今年は名古屋駅前名鉄グランドホテルで6月4日(日)12時開催です。詳しい案内は4月中旬全会員に郵送させていただきます。多くの参加をお待ちしています。

江崎隆夫

## 広島商船高等専門学校

### 学校活動

#### ◎全国高専体育大会学生の活躍

8月中旬に東海北陸地区で第51回全国高等専門学校体育大会が開催されました。本校からは7月に行われた中国地区大会を勝ち抜いた陸上・卓球・剣道・水泳の4競技が出場しました。



出場選手たち 頑張りました

各競技においては、これまで培ってきた日頃の練習成果を存分に発揮し、団体の部では卓球男子優勝、個人の部では卓球女子シングルス準優勝、陸上競技女子やり投げ決勝3位の成績を収めました。

#### ◎東野小学校のスナメリ観察会に協力

大崎上島町立東野小学校が計画した「大崎上島の海の美しさを知ろう～スナメリが住む環境を守ろう～」の一環で行った「スナメリ観察会」に広島丸が協力しました。

大崎上島を周回する航海の間、小学生たちはスナメリの生息や観察方法についての説明を受けた後、広島丸の舷側から海を眺めスナメリを捜索しました。



スナメリ観察会

全員で確認することはできませんでしたが、数名の児童から「海面に影のようなものが見えた」という報告もあり、スナメリに出会ったのかも知れません。

#### ◎スポーツクリニックを開催

10月1日(土)、広島商船スポーツクリニックを開催しました。オリンピックや世界大会に出場した講師から、ケガの予防や走り幅跳びについて教えていただきました。

本校学生だけでなく、地域住民の方からも多数参加していただき、スポーツの秋にふさわしい一日となりました。



地域住民参加のスポーツクリニック

#### ◎大崎上島バレーボールスクールを開催

10月23日(日)、広島昔公学生服(株)の特別協賛のもと、柳本晶一さん(元全日本女子バレーボールチーム監督)をお迎えして、バレーボールスクールを開催しました。当日は本

校バレーボール部だけでなく、地元の中・高校生、ママさんチームなど島内外から多くの愛好者が本校体育館に集まり、バレーボールの練習に汗を流しました。大崎上島でバレーボールを頑張っているみなさんのモチベーション向上に貢献することができました。



柳本バレーボールスクール

#### ◎オープンスクールを開催

10月30日(日)、今年度二回目のオープンスクールを開催し、広島県内外から300名以上の中学生・保護者を迎え、学科説明、学校施設・学生寮見学、練習船広島丸体験航海などを実施しました。

当日は商船祭(学園祭)も併催され、参加者に学科展示やさまざまなイベントを楽しんでいただきました。



今年2度目のオープンスクール

#### ◎アイランダー2016において学生がプレゼン

11月26日(土)、27日(日)に池袋サンシャインシティで開催された全国の島々が集まる祭典「アイランダー2016」に出展し、離島高専の魅力と地域との連携をアピールしました。ブースでは本校学生が離島ならではの学校生活などの紹介と現在学校をあげて取り組んでいる「地(知)の拠点大学による地方創生推進事業」(大学COC事業)のプレゼンテーションを本校学生が行いました。ブースの前には大勢の人が集まり、熱心に質問する見学者もいるなど関心の高さをうかがわせました。



全国の島々が集まる祭典「アイランダー2016」

#### ◎エネルギー討論会 IN 広島 2016に学生が参加

12月3日(土)、本校において“エネルギー討論会 IN 広島 2016”を地域交流事業の一環として開催しました。地域住民の方、本校学生及び日本原子力学会シニアネットワーク連絡会のメンバーで意見交換を行い、活発な議論が交わされました。

討論終了後には、原子力についての地域の方の意見を聴取し、学生が討論結果をまとめ、

参加者全員に対して発表を行うなど、参加した学生達がエネルギー全般について学ぶ場を作ることができました。



エネルギー討論会 IN 広島 2016

### ◎2016 キャンパスベンチャーグランプリ 中国大会

#### テクノロジー部門優秀賞受賞

日刊工業新聞主催の2016 キャンパスベンチャーグランプリ中国大会において、流通情報工学科の中川学生と中村学生の2名がテクノロジー部門優秀賞を受賞しました。今回応募したテーマは「★さめぼ★ -LD向け記憶補助システム-」というもので、学習障害(LD)児向けのタブレット用アプリと、アプリを利用したソリューションを提案、高い評価を受けました。



テクノロジー部門優秀賞受賞した中川さんと中村さん

(高専N8期、水井真治、記載)

### 校友会便り

#### ◎2017年度校友会年次総会の案内

- 1.日 時 平成29年5月20日(第3土曜日)
- 2.場 所 ビュアリティまきび(岡山駅から南700m)  
住所 岡山市北区下石井2-6-41  
TEL 086-232-0511

総 会 16:30~17:30

懇親会 17:30~20:00

- 3.議 題 活動報告及び方針、役員改選、決算並びに予算案、支部報告

平成30年に創立120周年を迎える当たり皆様のご意見を伺いたいと思います。

- 4.問 合 せ 先 校友会事務局  
TEL0846-65-3899(月、水、金)  
E-mail:oyukai@hiroshima-cmt.ac.jp

(広島商船高専校友会事務局、記載)



# 大島商船高等専門学校

## ◎学校行事

### 1. 式典・催事

#### ○平成 28 年度校内成人式を挙

平成 29 年 1 月 10 日(火)、平成 28 年度校内成人式を開催しました。新成人該当者は、商船学科 37 名、電子機械工学科 42 名、情報工学科 40 名の合計 119 名で、岡村教務主事より祝辞があり、その後、新成人を代表して商船学科 5 年山口健学生が新成人としての抱負を述べました。



校内成人式の様子



学生代表 山口学生・岡村教務主事

#### ○平成 28 年度 商船祭を開催 (第 48 回商船祭)

平成 28 年 11 月 3 日(木)、テーマ「Ignition～灰になるまで High になれ～」として開催しました。

### 2. 任命式・校内表彰

#### ○SMA (シンガポール・マリタイム・アカデミー) への派遣学生任命式を開催

平成 29 年 2 月 15 日(水)、SMA に派遣する学生の任命通知書授与式を行いました。今年度は平成 29 年 3 月 8 日(水)～16 日(木)まで、学生 8 名と引率教員 1 名の計 9 名を派遣します。



SMA 派遣学生

#### ○第 14 回読書感想文コンクール表彰式

平成 28 年 12 月 15 日(木)、第 14 回読書感想文コンクールの表彰式を開催しました。

最優秀賞 1 作品、優秀賞 2 作品、佳作 6 作品が挙げられ、最優秀賞には福喜碧海学生(商船学科 2 年)の作品「出会いの軌跡」が選出されました。



読書感想文 受賞学生

### 3. 学術活動

○平成 28 年度原子力人材育成事業フォーラムで学生が発表

平成 28 年 12 月 10 日（土）、日本教育会館（東京都）でのフォーラムにて、商船学科 5 年の学生が「放射線飛跡を捉える高感度クラウドチャンパー製作と放射線視察」のポスター発表を行いました。

## 同窓会だより

### ◎創立 120 周年記念ゴルフコンペ開催のお知らせ

皆様におかれましてはますますご健勝のことと心よりお慶び申し上げます。

さて、来る平成 29 年に創立 120 周年を記念し指宿ゴルフクラブ開闢コースにて下記の通り記念ゴルフコンペを開催します。

どうぞふるってご参加ください。

日 時：平成 29 年 5 月 5 日（金） こどもの日（祝日）

場 所：いぶすきゴルフクラブ開闢コース  
（TEL：0933-32-3141）

〒891-0602 鹿児島県指宿市開闢川尻 6660

定 員：120 名

アクセス：指宿いわさきホテルより車、30 分  
鹿児島中央駅より車、約 1 時間 30 分 送 迎

【指宿いわさきホテル → いぶすきゴルフクラブ】 7:20 → 7:45 / 8:30 → 8:55

【いぶすきゴルフクラブ → 指宿いわさきホテル】 15:50 → 16:20

### ◎【ご案内】各支部の活動状況の掲載について

拜啓 時下益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。

全国に 14 の小松会支部（北海道、京浜、中京、阪神、山陰、岩国・広島、周南、山口・宇部、関門、博多、長崎、大分、鹿児島、大島・柳井）を置き、活動しております（北海

道小松会は活動休止中）。最新動向・活動状況など同窓生の皆様への即時配信、年代を超えた更なる同窓生のつながり拡充等を背景に、同窓会校内理事の広報担当と致しましては、平成 26 年度より、新たに立ち上がりました同窓会のホームページ（<http://oshima-k.jp/>）の活用・充実化を検討して参りました。

そこで平成 27 年度より、同窓会報の中で即時性が求められる内容を徐々にではございますが、同窓会ホームページに移行させて頂いております。

ご理解とご協力の程、お願い申し上げます。

末筆ながら皆様のご健勝とご活躍を祈念致しております。

敬具



大島商船高専 同窓会ホームページ TOP 画面：  
<http://oshima-k.jp/>

（大島商船高専同窓会 校内理事中村翼 記）

## 弓削商船高等専門学校

### 学校だより

◎電子機械工学科・情報工学科卒業式及び専攻科（生産システム工学専攻）修了式

平成29年3月11日（土）に、平成28年度電子機械工学科（36名）・情報工学科（32名）の卒業式及び専攻科（生産システム工学専攻（5名））の修了式が行われました。式終了後は、保護者、教職員、同窓会役員、来賓の皆さんを交えて、後援会主催の祝賀会が開催されました。

卒業生・修了生の就職先・進学先は下記のとおりです。



卒業証書授与式



卒業生答辞

◎弓削商船高専マイコン部がシリコンバレーへ出発！

全国高等専門学校第27回プログラミン

グコンテストの課題部門で優秀賞を勝ち取った、弓削商船高専マイコン部 Knee's Needs チーム（瀬尾敦生さん（生産1）、井上香澄さん（情報3）、伊藤瀬里菜さん（情報2）、小山優香さん（情報2）、村上智哉さん（情報2））が、NICT 起業家甲子園「シリコンバレー起業家育成プログラム」に参加するため、アメリカのシリコンバレーに向け、2月19日（日）に弓削島を出発しました。

このプログラムは国立研究開発法人情報通信研究機構が主催しており、現地の ICT ベンチャーとの交流や、現地で活躍するベンチャー起業家等からの講義などを聞き、グローバルマインドを身につける機会が提供されるものです。

学生は、この経験を活かして来年度のプログラミングコンテストに向け意欲を燃やしています。



いざ！！ シリコンバレーへ

## 平成28年度卒業・修了予定者の就職・進学先一覧

平成29年3月1日現在

(電子機械工学科)卒業予定者数36名

就職	
東芝メディカルシステムズ株式会社 2名	株式会社アイテコポリューション 3名
株式会社藤本テイン 3名	大洋電機株式会社
富士電機株式会社 3名	ヤンマーエンジニアリング株式会社
株式会社タダノ	三菱電機ビルテクノサービス株式会社
株式会社島津アクセス 2名	日本オーテス・エレベータ株式会社 2名
株式会社エクス	GEヘルスケア・ジャパン株式会社
エヌエスディ株式会社	村田機械株式会社
株式会社NOK	大宮工業株式会社
島津メディカルシステムズ株式会社 2名	国際ケーブル・シップ株式会社
株式会社赤阪精工所	株式会社光電製作所
有限会社川崎商会日生マリーナ	株式会社古川製作所
株式会社テクモ	

進学	
香川大学 工学部知能機械システム工学科	長崎総合科学大学 工学部工学科船舶工学コース
豊橋技術科学大学 工学部機械工学課程	

(情報工学科)卒業予定者数32名

就職	
株式会社NTTフィールドテクノ	マツダ株式会社
神鋼テクノ株式会社	JFEスチール株式会社 2名
株式会社NHKメディアテクノロジ	株式会社エヌ・ティ・ティ・エムイー
株式会社富士通ゼネラル	株式会社LIXIL
株式会社メンバーズ	総合警備保障株式会社
NTTコムエンジニアリング株式会社	新日本海サービス株式会社
株式会社リコー	株式会社タダノ
フジテック株式会社	関西電力株式会社 2名
株式会社古川製作所	株式会社マツダE&T
株式会社エムティーサービス東日本	ダックシステム株式会社
株式会社三協システム	

進学	
豊橋技術科学大学 工学部情報知能工学課程	弓削商船高等専門学校 専攻科(生産システム工学) 4名
愛媛大学 工学部情報工学科	香川大学 工学部電子・情報工学科
千葉大学 工学部情報画像学科	

(専攻科(生産システム工学専攻))修了予定者数5名

就職	
株式会社小松製作所	株式会社エヌ・ティ・ティ・エムイー
株式会社ミウラ	

進学	
長岡技術科学大学 電気電子情報工学専攻 情報通信制御システム工学	九州工業大学大学院 生命体工学研究科

◎キッズジョブまつやま（職業体験イベント）で救命いかだによる体験授業実施

平成28年12月18日（日）、松山コミュニティセンターにおいて、「キッズジョブまつやま」が開催され、約1500人もの小中学生が講座を受講し、本校からは、商船学科の救命いかだを中心とする出展を行いました。

当日は、企業、学校などの団体によって、50講座もの職業体験講座が実施されました。

この中で本校は、松山コミュニティセンターの温水プールにて、船舶に搭載されている非常用の救命いかだへの試乗、非常食の試食、海で浮かぶイマーシブスーツの実演などを行いました。参加した小中学生と保護者のみなさんは、普段乗ることのない救命いかだに乗り込み、脱出訓練の重要性を実感されたようです。

この他にも見学ロビーでは、船員制服の試着、航海計器、海図などを展示しました。このイベントを通して、参加者の皆さんに「船員」の仕事を体験していただきました。



「キッズジョブまつやま」で体験授業

弓削商船高専同窓会だより

◎電子機械工学科、情報工学科卒業式表彰の報告

3月11日電子機械工学科、情報工学科の卒業式が行われました。本年も同窓会より、卒業生に向けて優秀な学生の表彰を行いました。電子機械工学科は角谷有一君が、情報工学科は立花綾野さんが受賞されました。卒業式の記事については学校からも紹介されていますのでここでは表彰者の報告のみとさせていただきます。

忘年会、新年会、懇親会報告

平成28年も同窓会各支部にて忘年会が開催されました。京浜支部、阪神支部にて忘年会、また29年1月には今治支部にて新年会、2月には徳島支部にて懇親会が開催されております。各支部在住のOBの方には本年も会は開催される予定ですのでふるってご参加ください。

また本年度は高知支部にて6月に同窓会総会を予定しています。



H28年阪神支部忘年会。

同窓会協力の学校行事報告

今回は記事の趣向を変えて、学校広報に協力している同窓会行事等の報告を行ってみたいと思います。これは学校広報行事の中で主に学校在籍のOB教職員、事務局の益崎と

学生、同窓会事務担当者の方が中心になり、または携わって行っている行事です。これには当然同窓会からも少なからず補助をいただいているものもありますのでこれらの行事の中から本年度実施した主なものを下記にご紹介いたします。

### 1. “キッズジョブまつやま”での広報活動

昨年もこの紙面にて報告いたしました松山PTA 連合会主催で開催されたこのイベントが本年は12月に開催されました。はE46 益崎を中心とするOB教職員（I2 向井、SN102 森）と補助学生4名、事務局員で実施してまいりました。世話をさせていただいたのも電子機械工学科のOBであるM15 山藁君です。山藁（やまだい）君は松山市PTA 連合の副会長をされています。弓削商船広報活動のためにプールの手配をさせていただいたおかげでこの企画が実現いたしました。講義（ジョブ）の内容はプールに救命いかだを浮かべて体験乗船をするものです。詳しい内容は学校記事でも紹介されています。



“キッズジョブ2016”

### 2. ふるさと CM 大賞への出演

3月4日（土）に愛媛朝日テレビで放映された“2017えひめふるさと CM 大賞”へのエントリー、審査会に関係者が出演しま

した。これは1年をかけて上島町の30秒のCMを作成し、その審査会に出展するものです。審査の状況も放映され見事特別賞を受賞、副賞として20回のCM放送をいただきました。

このCMの製作は上島町弓削のCATVに勤務するE48 青木君が学生と中心になって行ってくれました。内容は“7つの海を旅する上島”と題して、学校での年間行事を撮影したものを編集、海王丸の登橋礼の撮影をおこなって完成。弓削に弓削商船ありを宣伝したものです。審査会当日は舞台にて出演者全員による登橋礼のパフォーマンス、教官役の益崎と女性教官役も同窓会事務局から参加していただき、過剰なパフォーマンスをおこないました。これが受賞のきっかけとなったようです。



“ふるさと CM 大賞”

### 3. 帆船祭り等のイベントでの広報活動参加

上記大きな活動とは別に下記の多くのイベントにて同窓生の協力、同窓会からの補助をいただいて学校広報等に協力しておりますのでご紹介いたします。

- ・長崎帆船祭りでの広報活動（5月）
- ・福山港祭りへの帆船寄港イベントでの広報活動（11月）
- ・船主協会主催の神戸、東京、広島等での

合同ガイダンスへの同窓生の参加（6、7月）

・今治パリシップ（2年に1度開催）での  
広報活動（本年度5月予定）

・国立科学博物館での科学体験イベント（8  
月）

・大洲青少年自然の家での科学体験フェス  
ティバル（9月）

これらのイベントの中で参加してくれた  
学生への食事代等の補助、OBの方へのお礼  
等は同窓会からの補助で行われています。今  
後もご協力よろしくお願いいたします。



”科学体験”

以上

（E46期 副会長 益崎真治記）



”長崎帆船祭り”、



”福山港祭り”

### ◎弓削商船輝く大臣賞

柏木会長より地元新聞の切り抜きを送付し  
て頂きましたので添付します。（編集子）

企業家甲子園で大臣賞受賞



## 海技教育機構

### ○ 乗船実習

冬の北太平洋を横断した高専4年生（現5年生）111名は2月無事に帰港、3月には高専2年生が1ヶ月の短期実習を終了しました。

ハワイ諸島のナウイリウイリ港（カウアイ島）及びホノルル港（オアフ島）へ寄港した遠洋航海では、厳しい自然条件の中、風の力による帆走で目的地を目指し、一致団結した作業や狭い船内での共同生活を通じて、責任感や協調性、起こり得る危険に対する注意力といった船舶職員として求められる資質を養うと共に、船舶運航に関する知識・技能を習得しました。

ナウイリウイリ港には、カウアイ郡長及びハワイ大学カウアイコミュニティカレッジ学長より要請を受け、長年の交流の歴史を踏まえ新たな世代の文化や教育分野における交流を行う目的で寄港し大歓迎を受けました。

遠洋航海中の練習船では、毎日 facebook に実習生が考えた川柳を掲載しています。日本丸にてクリスマス、年末年始を挟んだ遠洋航海を成し遂げた実習生川柳の一部をご紹介します。

- ・ 始まった ハワイへの道 日々努力
- ・ 当直と 風呂飯天割 繰り返す
- ・ 微風だが 風を頼りに 我ら行く
- ・ 荒れる海 青く染まる スカッツル
- ・ 1mile その積み重ね ハワイへと
- ・ 19の冬 青春ささげよ 洋上に
- ・ 流れ星 陸が見たいと 願うのみ
- ・ ハワイ向け 聖なる夜に ロープ引く
- ・ 年の瀬の 最後の帆走 走り抜く
- ・ 西経入り 祝いの汽笛 響く夜 本日二度目の 大晦日

- ・ 年明けて 神棚に皆で祈る ご安航
- ・ 夜が明けて 左舷に見える カウワイ島  
ハワイの香りと 眩しい太陽



歓迎レセプション



餅つき大会



現地学生との交流



4月1日から高専5年生は、銀河丸及び青雲丸の2船に分かれて乗船し、後半6ヶ月の実習を行っています。このうち、銀河丸は8月5日(土)に東京港を出航し、シンガポール港へ寄港する遠洋航海を行う予定です。

#### 平成29年4月から6月までの乗船実習の予定

##### ○日本丸

海上技術学校(乗船実習科)4年

海上技術短期大学校(波方)2年

4/5 東京発、4/13~17 細島、4/20~24 長崎、4/27~5/1 門司、5/4~8 宮崎、5/18~22 宇野、6/2~ 入渠、6/10 下船(入渠地)

##### ○海王丸

大学(航海科、機関科)5年

海技大学校(航海科、機関科)2年

海技大学校専修(航海科、機関科)2年

海技大学校専攻(航海科)2年

4/5 東京発、5/3~8 リッチモンド、5/19~23 ホノルル、6/9 東京着、6/10 下船

##### ○大成丸

海上技術学校(乗船実習科)4年

海上技術短期大学校(宮古)2年

4/5 横浜発、4/13~17 門司、4/27~5/1 青森、5/8~12 小樽、5/18~22 伏木富山、5/30~6/3 博多、6/8 東京着、6/10 下船

##### ○銀河丸

高等専門学校(航海科)6年

海技大学校専攻(機関科)2年

海上技術短期大学校(清水)2年

六級航海

4/5 東京発、4/13~17 鹿児島、4/24~28 博多、5/6~11 神戸(5/10 六級航海乗船)、5/17~22 別府、5/27~6/1 博多、6/8 東京着、6/10 下船

##### ○青雲丸

高等専門学校(航海科、機関科)6年

4/5 東京発、4/11~15 別府、4/24~28 七尾、5/6~10 函館、5/20~25 神戸、6/1~5 広島、6/9 東京着、6/10 下船

#### ○平成29年度 一般公開等のイベント情報

7月海の日の海フェスタ神戸では、神戸市から要請を受け、開港150周年を迎えた神戸港にJMETS練習船5隻が大集結します。

多数の帆船を集めた帆船フェスティバルや海の総合展、花火大会が計画されており、JMETS練習船もセイルドリル、一般公開、イルミネーション点灯等イベントに華を添える予定です。

海技教育機構は、ホームページ及びFacebook等のSNSを活用し、業務運営に関する情報、練習船における実習状況ならびに各寄港地でのイベント情報を発信しています。是非ご覧ください。

平成 29 年度 一般公開等のイベント情報一覧

寄港期間		寄港地	練習船	停泊中の行事	振興目的
入港	出港				
4月20日(木)	4月24日(月)	長崎港	日本丸	セイルドリル 一般公開	2017長崎帆船まつり
5月4日(木)	5月8日(月)	宮崎港	日本丸	セイルドリル	宮崎みなとまつり
5月18日(木)	5月22日(月)	宇野港	日本丸	セイルドリル 一般公開	たまの港フェスティバル
5月27日(土)	6月1日(木)	門司港	銀河丸	一般公開	門司みなと祭
7月15日(土)	7月22日(土)	神戸港	日本丸	セイルドリル 一般公開	神戸港開港150年記念事業 海フェスタ
7月14日(金)	7月18日(火)		海王丸		
	7月19日(水)		大成丸		
	7月19日(水)		銀河丸		
	7月18日(火)	青雲丸			
7月21日(金)	7月25日(火)	宮古港	海王丸	セイルドリル 一般公開	海事広報活動
7月28日(金)	8月1日(火)	御前崎港	海王丸	セイルドリル 一般公開	海事広報活動
7月28日(金)	7月31日(月)	名古屋港	青雲丸	一般公開	海事広報活動
8月4日(金)	8月8日(火)	衣浦港	海王丸	セイルドリル 一般公開	半田市改80周年 衣浦港重要港湾指定60周年記 念事業
8月8日(火)	8月12日(土)	千葉港	大成丸	一般公開	平成29年度 海の月間活性化事業
10月12日(木)	10月16日(月)	東播磨港	日本丸	セイルドリル 一般公開	町制施行55周年記念事業
10月13日(金)	10月17日(火)	福山港	海王丸	セイルドリル 一般公開	ふくやま港まつり
10月19日(木)	10月23日(月)	広島港	日本丸	セイルドリル 一般公開	海事広報活動
10月26日(木)	10月30日(月)	大阪港	日本丸 海王丸 大成丸	セイルドリル 一般公開	大阪港開港150年記念事業
11月2日(木)	11月6日(月)	清水港	海王丸	セイルドリル 一般公開	海事広報活動
11月3日(金)	11月7日(火)	伊万里港	日本丸	セイルドリル 一般公開	伊万里港開港50周年記念
11月10日(金)	11月15日(水)	名古屋港	日本丸 海王丸	セイルドリル 一般公開	名古屋港開港記念日
11月22日(水)	11月27日(月)	下関港	海王丸	セイルドリル 一般公開	海事広報活動
11月30日(木)	12月4日(月)	名古屋港	大成丸	一般公開	海事広報活動
3月19日(月)	3月23日(金)	名古屋港	銀河丸	一般公開	海事広報活動

以上

## 本部・支部だより

### 〈 本 部 〉

- 16.12.06 平成 28 年度商船系高専同窓会長との懇談会開催  
出席者（同窓会）  
広島商船高等専門学校校友会会長 望月 正信、  
大島商船高等専門学校同窓会会長 酒迎 和成  
弓削商船高等専門学校同窓会会長 柏木 実  
（全船協）岩田会長、赤嶺副会長、及川専務理事、田島事務局長”
- 16.12.10 日本丸遠洋航海出航式が石井啓一国土交通大臣の出席のもと 13:00 より横浜港新港埠頭 5 号岸壁日本丸船上にて執り行われました。日本丸はその後、14:00 遠洋航海へ向け、離岸出航しました。（岩田、及川、田島）”
- 16.12.13 横浜海洋会忘年会（岩田）
- 16.12.14 FANFAM INC. 上岡幸恵氏来会（業務打合せ）
- 16.12.16 第 123 回関東船員災害防止連絡会議（岩田・田島）
- 16.12.19 日本殉職船員顕彰会 第 7 回催事委員会（田島）
- 16.12.21 全船協の赤嶺正治副会長が JAXA 極海・氷海域分科会に委員として参画
- 16.12.26 川崎近海汽船年末挨拶(岩田・及川)
- 16.12.27 SEILA 第 1 回理事会（岩田）
- 17.01.06 晴海埠頭に停泊中の銀河丸で乗船実習中の高専機関科第 47 期（4 年生）77 名を対象に 特別講話を実施しました。講話の内容は「就職船社選定のポイントについて」「乗船経験を活かすキャリアアップについて」「講和についてはメインはキャプラン株式会社佐々木雅美氏）  
講話の前には JMETS 練習船の図書購入のために寄附の贈呈を実施(岩田、田島)尚、2 月 9 日には日本丸を訪船予定です。
- 17.01.10 横浜海洋会賀詞交歓会（岩田）
- 17.01.11 みずほマクロセミナー（及川）
- 17.01.11 日本海運株式会社訪問（岩田、及川）
- 17.01.12 NPO 法人 SEILA 第 13 年度理事会(岩田)
- 17.01.13 JMETS 練習船カレー完成披露会(岩田)
- 17.01.13 海洋会賀詞交歓会（岩田、及川、田島）
- 17.01.17 NPO 函館写真の会 野戸崇治氏来会
- 17.01.17 第 3 回 HTW 調査兼用委員会（及川）
- 17.01.18 窪田 哲夫氏(恵那市 佐藤一斎言志四録普及特命大使)を講師に迎え講演会実施。  
演題：今日の現状と運命、そこに不可欠な日本人の心（企業人の生き方）  
—佐藤一斎「言志四録」による日本精神—  
「人として生まれたからには、ことを成すためにあり」  
参加者：協会会員以外 22 名、協会会員 12 名 計 34 名  
尚、参加者からは非常に勉強なったとの感想が沢山寄せられています。”
- 17.01.18 小樽水産高等学校 芹沢良通校長来会
- 17.01.19 執行役員会議においてモデルとしてフリーで活躍中の埜（たお）智子さん（大島商船高専卒、航海士、当協会会員）を当協会の広報大使（通称）に就任を依頼。埜さんには快く了承をいただき、自主的に活動を進めることとし 協会としてもあらゆる機会をとらえて埜さんを支援して行く予定です。
- 17.01.19 執行役員会（岩田、赤嶺、及川、田島、特別出席者埜智子会員）
- 17.01.25 キャプラン株式会社佐々木氏とスターマリン・パブリックリレーションズ株式会社 吉田氏来会”
- 17.01.30 (公財) 日本殉職船員顕彰会第 8 回催事委員会（田島）
- 17.02.03 めいよう会、於：名古屋港（岩田）
- 17.02.03 大深木石油』開発・洋上風力エネルギー開発講演会（及川）

- |          |   |          |   |
|----------|---|----------|---|
| 17.02.09 | 晴海埠頭に停泊中の日本丸で乗船実習中の高専航海科第47期(4年生)95名<br>機関科15名を対象に特別講話を実施しました。講話の内容は「就職船社選定のポイントについて」「乗船経験を活かすキャリアアップについて」(岩田、田島) | 17.03.16 | 公益社団法人 日本海難防止協会総会<br>(岩田)                             |
| 17.02.10 | 第3回高専・海事教育フォーラム(岩田、赤嶺、及川、田島、本望)   | 17.03.17 | 富山高等専門学校 山本教授、山田助教<br>来会                              |
| 17.02.13 | 第21回海洋立国フォーラム in 東京<br>2017(岩田)   | 17.03.17 | 平成28年度第3回企画・財政委委員会                                    |
| 17.02.15 | 富山高専運営委員会(及川)   | 17.03.22 | 商船系5校校長との懇談会  |
| 17.02.21 | キャプラン(株)佐々木氏&山田氏来会  | 17.03.22 | 適格請求書保存方式に関する意見交換会<br>(第4グループ①海事(外航)・港湾関係)<br>(及川、田島) |
| 17.02.21 | JLL 難波氏来会打ち合わせ  | 17.03.24 | 平成28年度第3回理事会  |
| 17.02.23 | 海技振興フォーラム(岩田、及川)  | 17.03.27 | 海大OBコンペ(岩田)   |
| 17.02.28 | キャプラン株式会社主催のワインテイ<br>スティング講座に参加(岩田・及川・田島)<br>講師:千住 賀子氏 (Jプレゼンスア<br>カデミーWEST認定講師)                                  | 17.03.29 | Star Marine PR 吉田氏来会                                  |
| 17.03.03 | 大島商船高専評議委員会(赤嶺)   | 17.03.30 | 海王丸船機長来会 遠洋航海出航挨拶                                     |
| 17.03.06 | 海技教育財団理事会(岩田)   | 17.03.30 | 島田麻美氏来会(就職相談)   |
| 17.03.14 | キャプラン株式会社 佐々木氏来会  | 17.03.31 | JLL 難波氏他2名来会内合わせ                                      |
| 17.03.15 | 公益財団法人 海技教育財団評議委員会<br>(及川)  |          | <神戸支部>  |
|          |   | 17.01.05 | 初出、関係先挨拶回り  |
|          |   | 17.01.11 | 支部新年会 参加者10名  |
|          |   | 17.02.15 | しんようクラブ懇親会  |
|          |   | 17.02.16 | 機関士協会神戸支部懇親会  |
|          |   | 17.02.24 | 定例会 出席者4名   |
|          |   | 17.03.08 | しんようクラブ幹事引継ぎ  |
|          |   | 17.03.24 | 定例会 出席者3名   |

## お知らせ

### 神戸開港150年記念事業・神戸まつり事業 第39回神戸港カッターレース

#### 1. 事業概要

海洋で働く人達や市民にウォーターフロントでの楽しい休日をご過ごし頂き、親しみやすい港づくりと港湾・海事思想の普及を図ることを目的とする

#### 2. 主催

神戸港振興協会・神戸市みなと総局・神戸市民祭り協会・神戸海事広報協会

3. 日時 平成29年5月14日(日)9時~16時

4. 場所 メリケンパーク東側海上

#### 5. レース

男子: 32レース 女子: 12レース ジュニア: 6レース



海、船に興味を持っている子供達に参加の声を掛けましょう!!  
全船協会員のお知り合いの方々に是非「合同ガイダンス」の説明をして下さい。

中学校の先生  
中学生の保護者の皆様へ

**参加無料**

# 国立高等専門学校(商船学科) 5校 合同進学ガイダンス

対象：中学生・保護者・先生

●プログラム(予定)

商船系に興味ってどんなところ?  
就職がすこいって本当? わかりやすくさくっと説明。

**総合説明**

実際に働いている先輩のお話で、  
授業のイメージもはっきり!

**航海士&機関士からのメッセージ**

ここで5校の先生から説明が聞ける!

**学校別個別相談会**



**6・10日 神戸**  
13:00~17:00

三宮研修センター

神戸市中央区磯元通4-1-12 3階5号室

(参加人数:先着約100名程)

**6・25日 広島**  
13:00~17:00

ワークピア広島

広島市南区基町1-17

(参加人数:先着約100名程)

**7・29日 東京**  
13:00~17:00

海運ビル・日本船主協会

東京都千代田区千代田2-6-4

(参加人数:先着約40名程)

**7・30日 横浜**  
13:00~17:00

ナビオス横浜

横浜市中区新港2-1-1

(参加人数:先着約100名程)

0020 広島商船高等専門学校 大島商船高等専門学校 弓削商船高等専門学校  
鳥羽商船高等専門学校 富山高等専門学校(商船学科)

主催:一般社団法人日本船主協会 <http://www.jsanet.or.jp>

共催:独立行政法人国立高等専門学校機構 富山高等専門学校 鳥羽商船高等専門学校

広島商船高等専門学校 大島商船高等専門学校 弓削商船高等専門学校

後援:富山県教育委員会 三重県教育委員会 広島県教育委員会 山口県教育委員会 愛媛県教育委員会 神奈川県教育委員会 兵庫県教育委員会

独立行政法人海技教育機構 一般社団法人全日本船協員協会 一般社団法人日本長距離フェリー協会 文部科学省 国土交通省

お申込み・お問合せは  
こちらから!



## 船員になるための 国立高等専門学校があります。

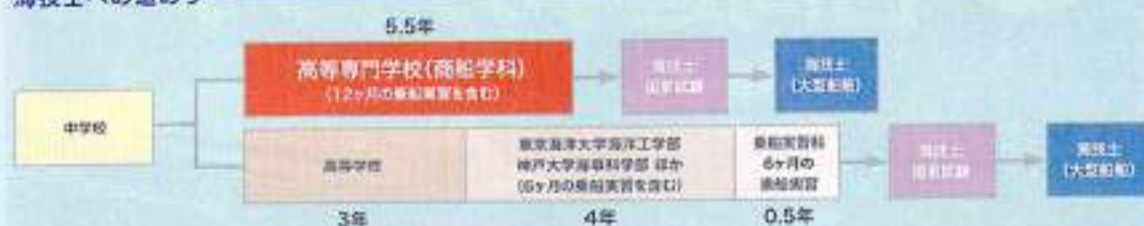
多くの資源を輸入に頼っている日本。そのほとんどは船によって運ばれています。そこで活躍している船員という職業の社会的使命は大きく、誇りをもってインターナショナルに活躍できる仕事です。

船員になるためには「国家資格」が必要です。外国との貿易に携わる外航船員になるためには中学卒業後に商船学科のある国立高等専門学校へ進学する道と、高校卒業後に専門学部のある大学へ進学する道があり、どちらも卒業すると、外航船員の国家試験（3級海技士）を筆記試験免除で受験することができます。

## 広い視野を持った 船員（海技士）の養成。

国産を海に囲まれた日本を支え、広く世界へ、未来へと羽ばたくたくましい前者を育てています。商船学科のある国立高等専門学校は、富山（富山県）、鳥羽（三重県）、広島（広島県）、大島（山口県）、弓削（愛媛県）の5校。5年半にわたる一貫した教育システムにより高い水準の専門知識を身につけることができ、卒業時には準学士の称号が与えられます。卒業生は外航海運会社などの一流企業や官公庁、三級の高技免状を必要とする国内の大型船舶運航会社（長距離フェリーを含む）などでも活躍しています。また、卒業後大学の3年次に進学することもできます。

### 海技士への道のり



### 参加申込方法

当協会ホームページでお申込みいただくか、下記の参加申込書に必要事項をご記入の上、FAX・郵送でご送付ください。  
※申し込まれた方には、5月頃より、随次入場券を送付いたします。

お申込みはこちら  
<http://www.jsanet.or.jp/resource/guidance2017.html>



●希望参加会場に✓印をお付けください。

<input type="checkbox"/>	神戸会場	<input type="checkbox"/>	広島会場	<input type="checkbox"/>	東京会場	<input type="checkbox"/>	横浜会場
--------------------------	------	--------------------------	------	--------------------------	------	--------------------------	------

●参加者全員（保護者・同伴者）のお名前・学年または年齢をご記入ください。

フリガナ 参加者氏名	( 年生 ) ( 歳 )	フリガナ 参加者氏名	( 年生 ) ( 歳 )
フリガナ 参加者氏名	( 年生 ) ( 歳 )	フリガナ 参加者氏名	( 年生 ) ( 歳 )
フリガナ 参加者氏名	( 年生 ) ( 歳 )	フリガナ 参加者氏名	( 年生 ) ( 歳 )

●中学校名をご記入ください。

中学校名	中学校
------	-----

送付先

メール guidance@jsanet.or.jp FAX 03-5226-9166  
住所 〒102-8603 東京都千代田区平河町2-6-4 海運ビル  
日本船主協会「ガイダンス係」

●入場券送付先をご記入ください。

フリガナ 氏名	〒	—
電話番号	ご住所	
当日の連絡先 ( )		

お問い合わせ 一般社団法人 日本船主協会 TEL.03-3264-7178 担当:社上

お申込者に関する情報は、進学情報、海運情報に関してのみ利用させていただきます。

## 第47回戦没・殉職船員追悼式ご案内

第47回戦没・殉職船員追悼式を下記の通り挙行いたします。多くの皆様の参列をお願い申し上げます。

式典は、国歌斉唱・黙祷・参列者献花・能楽「海霊」奉納の順に進行し12時に閉式。その後、観音崎京急ホテルで懇親会を行い、13時30分散会の予定です。  
お問い合わせは日本殉職船員顕彰会へご連絡ください。

### 記

- 日 時： 平成29年5月11日（木）午前11時開式  
\*晴雨に関わらず受付は午前9時に開始します。
- 場 所： 神奈川県立観音崎公園「戦没船員の碑」（横須賀市）
- 交 通： ① 京急浦賀駅から観音崎行き京浜急行バス（所要約15分）  
② JR横須賀駅から観音崎行き京浜急行バス（所要約30分）  
\*①②ともに『観音崎』バス停車  
③『観音崎』バス停から式典会場まで無料マイクロバス送迎  
\*乗用車による式場乗入れはできません  
午前9時から11時10分まで観音崎バス停から式場の『戦没船員の碑』まで無料マイクロバスを運行します。  
\*JR東京駅から観音崎バス停までの所要時間は約1時間30分です。

以 上

※式典には、全国の遺族、関係者の参列をいただいています。ご案内状の発送は4月上旬を予定しておりますが、ご案内を差し上げない方々も自由に参列できます。

※式典会場は屋外となります。近年の温暖化の影響で晴天の場合は気温が高くなることが予想されます。暑さ対策として、帽子・日傘・水等をご用意ください。

※式典は雨天でも行いますので、雨具の用意をお願いします。

※開式前に海上自衛隊横須賀音楽隊の前奏があります。

（雨天の場合、前奏は変更になることがあります。）

※懇親会終了のころ（概ね午後1時から午後2時まで）懇親会会場の観音崎京急ホテルから京急「馬堀海岸駅」まで無料マイクロバスを運行します。

〒102-0083 東京都千代田区麹町四丁目5番地 海事センタービル

公益財団法人 日本殉職船員顕彰会

電 話 03-3234-0662 F A X 03-3234-0682

E-mail : [kenshokai@isis.ocn.ne.jp](mailto:kenshokai@isis.ocn.ne.jp)

第43回 戦時徴用船の最後

大久保一郎遺作展



衝撃により横立ちとなって沈没する「ふらぶる丸」

第43回 戦時徴用船の最期  
大久保一郎遺作展

平成29年7月17日(月)～7月23日(日)

午前10時～午後6時

【初日：午後1時開場 最終日：午後6時閉場】

入場無料

会場 横浜市民ギャラリーあざみ野 1階展示室

横浜市青葉区あざみ野南1-17-3 アートフォーラムあざみ野内

主催 公益財団法人日本殉職船員顕彰会

東京都千代田区豊町西丁目5番地 TEL 03-3234-0662

交通

【電車】・東急田園都市線「あざみ野駅」東口から、徒歩約5分

・横浜市営地下鉄「あざみ野駅」1・2番出口から、徒歩約5分

【車】・東名高速道路ICをおりて248号線を渋谷方面に向かい

「江田駅東」の交差点で左折

駐車場 27台(有料・予約制、詳細は横浜市民ギャラリーあざみ野の

ホームページをご覧ください)

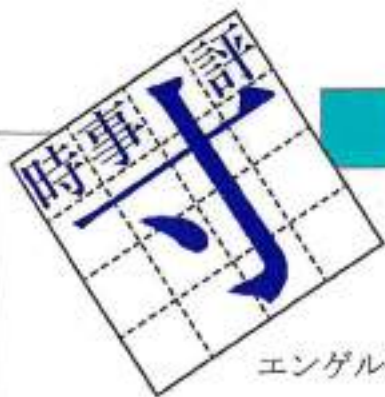




# 会費納入者芳名帳 (敬称略) 物故者含

平成28年12月～平成29年4月4日

11月分	鬼頭 弘治	溝淵真太郎	竹原 敏宏	上澤 恒介	森 昭太	伊藤野 紀弘
追記分	鈴木 直	藤井 仁	栗原 誠	古川 洋	木村 潔司	若藤 勉
終身会員	小林 佳寛	大宅 理志	杉野 智	中玉利 治	矢澤 好正	寺村 真亮
60,000円	徳田 健二	河本 俊	木元 孝徳	早崎 弘泰	森 由衣子	中村 光義
緑森繁樹	嶋海 弘晃	橋口 靖生	安達 真治	浦川 修	竹田 英樹	石井 聖二
個人入金	佐藤 祥二	和田 雅人	太田 祐二	出月 孝洋	高田 勉	瀬川 昌幸
若宮 和美	中原 雅光	中川 敏昭	西 泰浩	本田 修	多田 光男	3月分
12月分	半田 洋樹	松下 薫	川崎汽船	秋元 光博	砂山 美里	個人入金
個人入金	須磨 秀文	中塚 達也	小山 靖	二川 英樹	田葉 行宏	秦 真三
前田 裕	出口 孝治	柴山 隆史	田中 拓進	岡佐 智也	瀧口 龍雄	河口 賢
神田 修二	松野 克昭	宇佐見航一	野田 恭平	山田 隆二	太田 知孝	三吉 光雄
埜 智子	森 光生	佐々木翔輝	村松 賢一	鬼塚夕季愛	早稲田 慎也	土屋 秀生
岡本 篤	萩原 智昭	児玉 賢志	浪切 聡史	山田 健太	清水 栄喜	大谷 誠
三木 良祐	佐々木 勇	瀧田 祐司	佐藤悠記登	新田 浩宣	野場 修治	富永 栄治
八角 操	池田 和人	藤川 政良	道淵 卓苻	勝木 輝明	田邊 正彦	渡邊 拓弥
太田 祐二	大下 尚	山口 智彦	富田 稔	須田 浩明	多田 光男	山本 一真
西 泰浩	堀江 貴義	田村 孝夫	小原 光	曾我部博苻	砂山 美里	大津留 吉広
種谷 聡	岡本 二郎	山本 和之	川本康一郎	友利 賢吾	田葉 行宏	森川 航太
日朝 俊哉	菅 篤志	間島 崇夫	宮田 涼一	山中 亨子	瀧口 龍雄	村岡 利春
安田 哲士	川上 哲治	八田真紀生	吉永 友安	山友汽船	太田 知孝	安田 周真
吉岡 勉	三宅 俊哉	濱松 直也	鍋島 誠	山田 和久	早稲田 慎也	椎原 健郎
木村 正助	富田 佳彦	山岡 宣之	宮本 和弘	濱本 邦夫	清水 栄喜	瀧本 明範
吉野 高広	中西 智章	渡邊 真史	福田 祥司	扇山 進	野場 修治	水本 進一
木村 公太郎	岩本 真一	浅田 幸一	中野 陽介	西川 勝久	田邊 正彦	森田 篤史
石川 巖	森 団平	田川 寛大	藤澤 康樹	多田 幸悦	2月分	
寒河江芳美	森下 辰郎	染矢 真行	白石 真純	三浦 宗義	個人入金	
北本 明秀	渡邊 俊	漁野 智洋	中上 靖教	長嶋 大介	岩崎 敏壽	4月分
上田 真	熊谷 英樹	伊賀 勇治	廣瀬 憲博	松林 祐馬	長澤 裕之	糠居 芳昭
本田 一馬	富士 竜太	金子 大輔	原田 信夫	仁藤多喜男	溝越 扶人	原田 圭司
共栄タカ-	藤野 晴久	鈴木 直也	山本 行香	種谷 拓実	鴨瀬 拓海	新入会員
小林 利萌	梶山 勝彦	上井 博明	末永 智之	前田 重信	吉田 康二	久路 龍馬
佐藤 好司	高橋 英次	平木 恵介	西川 偉紀	中山 修作	團訪 純也	
浦田 謙	安山 拓哉	瀬川 尚吾	大澤 博次	松ノ尾 明	本木 久也	
外谷 正彦	安達 昌弘	萩原 崇二	亀山 真吾	高梨 満雄	中村 真澄	
中野 寛士	泉 良充	鍋島 駿	千葉 俊太	北島 幸市	畑 辰幸	
石田 健一郎	神田 和也	福井 悟	鬼頭 和江	望月 正信	加藤 明洋	
日本郵船(郵和会)	中西 裕紀	吉村 英晶	阿部 聡敏	名木 彰平	金澤 輝雄	
	川西 雄太	末次 徳明	金子 海里	石屋 安生	西村 純	H29年度分既納入者
堂脇 泰男	森川 勉	百合野 剛	中村 敦也	川淵 仁	竹中 五雄	
久保 潤一	麻生 恵毅	山本 真丈	足立 吉久	菊地 栄輝	濱崎 龍也	
吉野 均	吉岡 哲也	阿部 誠	岡本 龍太	村岡 稔	針生 あや	木村 和也
成田龍之介	杉山 栄作	寺西 尚平	杉枝 伸哉	高船三井フジ-	宮武 弥希	鈴木 晴敏
久保田一朗	大木 昭和	迫間 利紀人	田村 安英	木下 博	坂川 広了	清水 肇
小谷 佳秀	山森 大幹	山下 晋孝	石田 宗久	岡田 雅人	三好 蘭島	小林 司
藤田 繁	長井 一剛	片淵 敏之	山下 裕規	前田 龍苻	宮嶋 裕介	
古川 大樹	芥川 俊久	沖原 邦彦	小山 陽平	荻井 啓	江川 裕之	
笠松 法昭	小西 智子	福井 栄	楠本 竜也	薄井 雄基	後藤 雄一郎	
石井 秀典	安井 裕三	塚山 広利	長尾 敏也	廣瀬 潤一	角石 勝一	
橋出 修一	下田 賢斗	亀山 栄二	藤坂 祐介	相澤 功	松浦 浩三	
大原 智喜	杉山 治	新田 真一	加藤 健真	清水 洋平	鬼木 進	
大類 健三郎	永野 勇	宇都宮航平	長沼 竜二	富山 幸苻	横田 実保	
松村 茂実	森 健介	朝日 健二	佐々木 薫	時松 真貴	谷水 愛菜	
佐々木勝吉	相原 隆志	滝浦 文隆	寺口 直宏	新入会員	山岸 智典	
澤田 和志	藤田 恒志郎	越田 亘	穴太 康平	山本 千達	藤島 司郎	物故者
田中 英治	一原 勝彦	森光 誠	永村 大輔	1月分	菅原 大直	川村 越
岡田 悠紀	高船三井	廣村 匡俊	友光 雄太	終身会員	村上 龍	2015/12 没
中矢 真央	中尾 拓弥	徳山 公彦	西岡 圭志	75,000円	竹元 健	猿渡 園雄
藤田 裕	枝次 雅治	栗田 和彦	横田 守弘	南 正人	藤井 哲郎	2017/2 没
福間 功	横田 尚宏	濱田 雅秀	JXオーシャン	個人入金	竹中 謙	
原治 俊幸	酒井 真樹	早柏 隆太	西本 雅之	福地 越雄	大橋 泰夫	



### エンゲル係数 なぜ上昇？

4月2日の読売新聞日曜版（2面）に記事が掲載されており、私が小学校上級生の頃、エンゲル係数の説明を先生から聞き、知ったかぶりして得意になり母親に質問したことを思い出しました。家庭の支出に占める食費の割合を示す指標であり、19世紀にドイツの統計学者エルンスト・エンゲルが提唱したことからこの名前がついた。

食事は生きるのに不可欠で、収入が減ったからといって削りにくい。このため、収入が多く、服や家電等に沢山お金を使う家庭のエンゲル係数は低くなり、収入が少なく食事以外にお金を回す余裕のない世帯は高くなる傾向にあり、生活のゆとりを示す指標として用いられてきた。総務省によると、2014～2016年のエンゲル係数の上昇のうち、半分は食品物価の上昇が原因（円安による輸入物価の上昇）だ。それ以外の要因として高齢化や共働き世帯の増加による生活スタイルの変化で、調理済みの総菜購入や将来不安からの貯蓄の増加が上げられる。さて貴方の世帯は如何ですか？

TO記

### 表紙写真 校内練習船「広島丸」 提供先 広島商船高等専門学校

3番目の表紙写真は、広島商船高等専門学校校内練習船「広島丸」です。

本船は、石川島播磨重工業株式会社第一工場で建造され、平成9年（1997年）1月20日に竣工しました。

本船の要目は次の通りです。

航行区域：近海区域、総トン数：234トン、全長：57.00m、幅：10.20m、満載喫水：3.25m、  
主機関：ヤンマーディーゼル4サイクル中速ディーゼル機関（1300psX700rpm）、速力：13.00ノット  
航続距離：2,100海里、最大搭載人員：56人（乗組員9名・教員3名・学生44名）

### 編集後記

今回の会報「全船協 No134 春季号」より商船学科卒業生の就職に大変協力頂いている海運会社の記事を掲載して就活の参考にして頂くため、5校商船学科5年生全員に無料配布することにしました。

本会報を読んで頂くことにより、学生自身のみならず保護者の方々に日本の海運会社の現状及び今後の方向等を理解してもらえれば幸いです。

内容につきましては（一社）全日本船舶職員協会の活動理念である「船員教育の振興を図り、無料船員職業紹介及び海事技術者の人格技能の向上を支援する」を基に、分かり易く編集して行く所存ですので、ご質問等ございましたら下記編集兼発行人あてご一報下さい。

TO記

全船協 No.134 春季号

平成29年4月 発行

◇発行所・一般社団法人 全日本船舶職員協会 ◇編集兼発行人 及川 武司  
〒101-0051 東京都千代田区神田神保町2-2-34 千代田三信ビル 8階  
TEL 03-3230-2651 FAX 03-3230-2653

E-mail : [honbu@zensenkyo.com](mailto:honbu@zensenkyo.com) URL : <http://www.zensenkyo.com>

## 宿泊設備（海員会館）のご案内

ご宿泊・お食事・ご会合に、どなたでもご利用頂けます。

ナビオス横浜



1階 レストラン

Ocean

※写真はイメージです。

ナビオス横浜

3階 バーラウンジ



Seamen's Club



**ナビオス横浜**  
International Seamen's Club & Inn  
TEL : (045) 633-6000

- | エスカル室蘭 TEL : (0143) 22-7009
- | 川崎海員会館 TEL : (044) 233-5896
- | エスカル横浜 TEL : (045) 681-2141
- | エスカル神戸 TEL : (078) 341-0112

一般財団法人 日本船員厚生協会 (045)319-4506  
ホームページ <http://www.jswa.or.jp>



### 内海水先区水先人会

Licensed Inlandsea Pilots' Association

会長 大泉 勝

〒650-0042  
神戸市中央区波止場町5番4号中突堤中央ビル4階  
電話 (078)332-7191 FAX (078)391-7157  
E-MAIL [info@inlandsea-pilots.jp](mailto:info@inlandsea-pilots.jp)

### 田子の浦水先区水先人会

会長 大久保 博史

副会長 漆 畑 忠雄

〒416-0936 静岡県富士市中河原28-2  
電話 (0545) 33-0734

### 伊勢三河湾水先区水先人会

合同事務所  
〒475-0831 愛知県半田市11号地1番5  
電話 (0569) 23-0713

名古屋事務所  
〒455-0033 愛知県名古屋市港区港町1番9号  
電話 (052) 854-1281

### 関門水先区水先人会

会長 内田 研一

〒801-0841 北九州市門司区西海岸1丁目4番24号  
電話 (093) 332-2384(代)

### 鹿島水先区水先人会

会長 内田 裕二

〒314-0052 茨城県神栖市居切1909-16  
電話 (0299) 82-5515  
FAX (0299) 82-6205

### 鹿児島水先区水先人会

会長 松下 忠夫

副会長 橋之口 勉

水先人 今村 義幸

〒891-0122 鹿児島市南榮5丁目10-8  
電話 (099) 260-7707  
FAX (099) 260-7717

船舶、船舶装備器具及び部品の販売、輸出。作業船の貨物  
船修繕、検査工事の請負及びコンサルタント。

### K2 シップマネジメント株式会社

代表取締役 可 児 絃 之(鳥羽S39E)

〒220-0023 神奈川県横浜市西区平沼1-13-14  
パークグァ横浜・壱番館306

電話 : 045-290-6082 FAX : 045-290-6916  
E-mail : [kani@ksh.biglobe.ne.jp](mailto:kani@ksh.biglobe.ne.jp)

海事業界メディアのパイオニア

## 日本海事新聞

THE JAPAN MARITIME DAILY

試読・購読のお申し込みは

電話 **03-3436-3222** まで

電子版サービス「マリナビ」は  
[www.marinavi.com](http://www.marinavi.com)へ

# 飾り毛布 花毛布 新38選

あたたかい日本のおもてなし



飾り毛布・花毛布は、1枚の毛布を花や自然の風景、動物などの形に折って船室に飾る、百年を超える歴史を持つ日本船独自のおもてなし。好評既刊「飾り毛布 花毛布」を全面改訂、大幅に増頁し、38種の作品と折り方をフルカラーで紹介。一部は動画も提供。この文化を継承している船会社や組織、折り手のプロフィールも掲載。

上杉恵美（明海大学ホスピタリティ・ツーリズム学部教授）  
吉田孝志（JR東日本・運転士、元青函連絡船乗組員）  
森本奈行（ホテルパラディスイン相模原・取締役支配人） 著

A5判 160頁 定価（本体1,800円+税）

〒112-0006 東京都文京区水道 2-5-4  
TEL 03-3815-3292 FAX 03-3815-3953

海文堂出版

<http://www.kaibundo.jp/>  
e-mail: [hanbai@kaibundo.jp](mailto:hanbai@kaibundo.jp)

## 会員各位 平成29年度通常総会 開催通知

1、日 時 平成29年6月7日（水） 14時00分～16時00分

2、場 所 全日本船舶職員協会 本部会議室

3、議 題 第1号議案 平成28年度事業報告（案）

第2号議案 平成28年度決算（案）

（1号・2号議案は同時に併採審議とする）

報告事項 1.平成29年度事業計画（案）及び平成29年度予算（案）  
2.本部事務所の賃貸借による活用について

※正式には会報と一緒に送付される「議案書をご参照下さい。

同封のはがき等にて出欠・委任・書面表決等の手続きを行ってください。

尚、6月よりはがきの料金が52円から52円に値上げとなります。なるべく5月中に投函お願いします。

通常総会が成立するには、会員の半数以上の出席が必要となっています。

総会に出席できなくても、会報に同封されはがきにて「委任」又は「書面表決」を行って下さい。但し、議長への委任の場合はは無効となります。

電子メール・ホームページ・携帯・スマホメールで  
回答されても有効です。  
携帯・スマホメールの場合は、右のQRコードをご利用  
くだされば簡単に送信できます。

